

任運開設40周年記念

忍如也



II



2008年5月～2015年3月

任運荘 お世話の八項目

- ① 自由意志の尊重
- ② 褥瘡なし
- ③ おむつの随時交換の追求
- ④ プライバシーの保護（カーテンの活用）
- ⑤ 悪臭異臭なし
- ⑥ お年寄りの問題行動は優しく鎮静
- ⑦ 温かい食事
- ⑧ 心の介護（人間性のあるホーム）

はじめに

『任運荘の朝な夕な、いつもせわしげな寮母たち。そばでたたずむお年寄り。ゆったりした時はなかなか持てません。そんな中でふと気になるお年寄りの【つぶやき】に気にとめ、メモ書きしたものを任運荘ミニコミ紙「おとずれ」に2～3編ずつ掲載したのが一九九〇年一〇月号からでした。

ご家族からは普段の任運荘の暮らしが見えて楽しみにしているとお言葉を頂き、励みとなり二〇〇二年より寮母をはじめ利用者に関わる全職員が【つぶやきノート】に書き留めるようになりました。しかし「おとずれ」に掲載できるのは一部で、いつか【つぶやき集】をと思っておりました。

編集、装丁とすべて任運荘広報委員会の手作りで、つたない物となっておりますが、ふだん着の任運荘をかいま見ていただければ幸いです。』

以上は「つぶやき集 二〇〇八」の巻頭挨拶です。七年経過し四〇周年を迎えましたが思いは変わりません。任運荘には毎年約一〇人以上の新入居者をむかえます。新たに七〇人の方々のつぶやきを加え第2集とします。

二〇一五年 五月

特別養護老人ホーム 任運荘 施設長 廣本 賢郎

赤嶺ヒデさん

食事介助後、

「終わりましたよ。ごちそう様でした」と言うと、

「お疲れ様」と笑顔を返してくれる。

児玉ハチヨさん

朝食後、「朝ごはん食べましたか?」と聞くと、

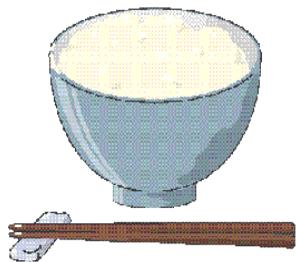
「ああ・・・」

「いっぱい食べましたか?」

「一杯しか食べんかった・・・」

「じゃあお昼は

早く食べておかわりしましょうね」



三代ハツヨさん

布団の中で大きなオナラが「ブゥ」と出る。

「あく、元気のいいのが出ましたね」と言うと、

三代さんは笑いながら、

「あんた耳がいいなあ!」と

二人で手を握って笑いました。

吉良ユキヨさん

寮母が赤ちゃんを連れてくる。

「吉良さん、育てるって言いよったけん

赤ちゃんを連れてきたよ」と見せると、あわてて

「受けおえれん 受けおえれん!」

次の日に昨日の話をする時、

「あん 赤ちゃんは可愛かったなあ」と

ニッコリ。



兎玉ハチヨさん

ご主人が面会から帰られた時、

「優しそうなご主人ですなぁ」と言うのと、

「優しそうにあつてん

そげえねえんで」

門松敏明さん

朝、髭剃りをした後

「髭がきちんと剃れてますか？」と聞くと、

手であごを触りながら、

「りっぱ りっぱ！」と笑顔で言う。

佐藤義子さん

昼食後、車イスで西ブロックに居たため、

「どちらに行かれますか？」と尋ねると、

「愛するだんな様！」

三代ハツヨさん

「久土知(出身)もホタルが飛びよるですよ。

今度ホタルを持ってきましょう」と言うのと、

「竹ぼうきでとつたら とるるんで！」

と教えてくれた。

後日・「ホタルを捕まえたけど、カゴが無くて

逃がしてしまいました」と伝えると、

「観ち 楽しまななあ〜」

「竹ぼうきじゃなくて手で捕まえたけど、

5歳の子もとってきたんですよ！」と言うと、

「そん ホタルは ドンなやなあ」

と二人で大笑いする。





赤嶺ヒデさん

朝夕食時に「ふふっ」と笑う。

「何か良い事があったんですか?」

「幸ちゃん(弟)が 足やら

つかんじ(揉んで)くれた」と言い、

「とてん 気持ち良かった・・・」

椿原花子さん

「起きち ご飯を食ぶる!

ご飯の用意はもうでけたんな!」

「今してますよ。起きて待ちましようね」

「そげえしゆう!」と笑顔。

衛藤元吉さん

「ここで顔を洗って下さいね」とお願いし

顔を洗った後、

「衛藤さん、私が20代に見えますか?」

「ウン! 見ゆる」と・・・。

「衛藤さん、目が覚めているようですね・・・」

安藤コキクさん

朝の食事介助の時、

「安藤さん、お薬を飲みましょう。」

朝は薬が4個ありますよ」と言うのと、

薬箱をのぞき込み、

「えっ!? そげえ飲みよったんな!!

知らんかったわあ・・・」



佐藤義子さん

以前、ご主人のベッドに行き、優しい声で
「おじいさん どうですか？」と布団を
整えていた。そのご主人が肺炎で入院・
それでもお部屋に行っているの、
「どうしましたか？」と尋ねると、
「おじいさんが
退院したか見に来ました・・・」

川邊輝義さん

22時30分、遅くまでテレビを観ているので、
「遅くまで観ていると朝起きれませんよ」
「朝は早えんじや、
5時には起きちよる」
「夜遅くても朝は早いんですね」と言うと
「おう!!」と自信満々な川邊さん。

西ヨシ子さん

娘さんが夏用の服を持って来てくれる。
「誰が持って来てくれたんですか？」
「カヨちゃん!」
「良く似合いますね。娘さんは西さんが
似合う服を分かっていますね」
「それで!! よく知ったちよるで」と笑顔。

衛藤元吉さん

「衛藤さん、誕生日プレゼントの
腕時計がいいですねえ。
息子さんが買ってくれたんですか？」
「そうじゃあ!」
賢治がこうちくれたんじやあ!!」



門松敏明さん

甲子園の中継を観ながら、

「大阪は強いですね。」

日田林工はココに負けたんですよ」

「ワシどうの応援も

足らんかったかもしれんけど、

こげえ強い相手なら

大分は全然歯がたたんわ！」

椿原花子さん

いつものように歌を歌っていたので、

「今日もお元気そうですね？」と言うと

「ええ、どうやら

こうやら元気です」

眞部タマエさん

大型台風が接近していることを伝えると、

「もう遠慮します」と苦笑い。

渡邊サカエさん

夜間時に訪室すると目を開けていたので、

礼をするど・・・

知り合いが訪ねて来たと思ったのか、

「誰かなあ・・・あんた・・・」

児玉ハチヨさん

本日が誕生日の児玉さんに、

「おいくつになられましたか？」と尋ねると、

「40歳じゃ・・・」

「90歳ですよ・・・」と言うと、

「よんじゅう!!」



三代チギさん

三代さんが植えた彼岸花が

咲き始めた事を伝えると、

「えっ!? もう咲きよん?」

うれしいです」



椿原花子さん

「台風が来るそうです。」

明日の朝位だそうですよ」と言うと、

「来るんなら 早よくらいいな」

椿原花子さん

「今から五千石祭に行きますよ。」

今日の調子はどうですか?」と聞くと、

「良すぎち わりい」

工藤ハツヨさん

「子どもさんが8人もいたら、

運動会のお弁当が大変だったでしょう?」

「普段は辛抱して・・そげん時は

心ばかりのご馳走をして行かせよったよ。

皆が弁当を持ってくるから、

してやらんとなあ」

上野ハツさん

足立ヒサヨさん百歳のお祝いに、

市長が来荘した時のこと・・・

市報でしか、市長さんを

見たことがないから、今日は目を

まあんまる大きく開けて見ました。

やっぱり市長さんは

立派な人ですわなあ」と笑顔。

安藤武士さん

朝食前にテレビのスイッチを入れると、
若くてグラマーなタレントが出ていたので、
「安藤さん、この人は胸が大きいんですよ」と
伝えると、「**があちゃん**」と言ってほほ笑む。
「奥さんは胸が大きかったですね?」

尋ねると、終始笑顔でした。

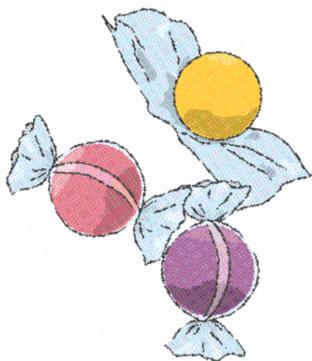
渡邊サカエさん

大好きなチョコレートを食べている

渡邊さんが、ひとつを指差し、

あんたも食べよ」と言ってくれました。

お気持ちだけいただきませうね。



阿南幸丸さん

今日はお釈迦様ん誕生日日じやなあ。

あんなあ・お釈迦様は、

男じやろか? 女じやろか?」と言われるので、

「ウーん、上半身が裸みたいだから、

たぶん男でしょう・・・」と答えると

フーン、そうかなあ!? ありがと!

赤嶺ヒデさん

赤嶺さんにあめ玉を差し上げる時、

あんたも食べよ」と言ってくれます。

首藤キヨさん

午前9時半に体交をして、11時過ぎに行った時、

反対を向いていたので、

「あら、いつ反対に向かれたんですか?」と聞くと、

「あんたが来んき、自分じした」と言う。

「あら、2時間位でまた来たんですよ」と言うと、

「ニッ」と笑う。

三代チギさん

「三代さん、今日はお花祭がありますよ」

私が子ども頃は、ビンを持って

甘茶をもらいにいきよりました」と

懐かしそうでした。

吉野秀子さん & 衛藤キヨさん

チューリップ見物に行く前の二人の会話…

㊦ あら、衛藤さん。今日は口紅を

ぬっていませんですか!? 私はぬりましたよ」

衛 あく、ぬるのを忘れちゃった!!」と慌てて

口紅をぬる。そして二人で顔を見合わせて、

良かった、良かった」と言い、笑顔で見物に行く。

羽田野シヨシさん

「爪を切るのを手をかして下さい」

えく!? 手を貸したよ」

ねえけん、分かん」



古庄信子さん

チューリップ畑を前にして、

「古庄さん、お花がとてもきれいですね。」

いろいろな色がありますね」と言うと、

あゝこんな所にタンポポが咲いちよるわ。

種がどっから飛んできたんでしょつなあ…

と見つめていました。

作られた花畑も美しいけれど、自然のままの

タンポポに、思いを寄せられた古庄さんでした。

麻生マヨさん

検温の時の看護師との会話…

熱はないけど、情熱はありますよー!」

「うまいこと言いますね」

買けたでしょう!」「負けました」

吉良ユキヨさん

チューリップ見物で、ソフトクリームを食べながら、

「うちは来年も来るで!!」と張り切る吉良さん。

「来年も絶対行きましようね!」



安藤コキクさん

前の晩に熱発していたので、

「調子が良いですか?」と尋ねると、

「調子はいいことありません」

三代ハツヨさん

検温の時、脇にはさんでいた体温計が

無くなっていたため、探していると・・・

「食べちゃらせんで!」と笑顔で言いました。

古庄信子さん・・・

自宅がすぐ側にあり、自宅を指差し、

「お茶を沸かそうか?」

「こんこ(漬物)を出そうか?」

とうれしそうだし

衛藤キヨさん

「今日は口紅を塗るのを忘れちゃった。

あんた部屋に行つて取っちきちくれんかな

あ?」

帰りの車中、「良かったわあ。」

吉野秀子さん・・・

「チューリップの花が

とてもきれいです

ね」

ソフトクリームを食べながら、

「今日は暖かいから、

麻生マヨさん・・・ソフトクリーム

を

最初に食べ終えた麻生さん、

「おいしい!最高や!」

「嫁と孫娘はここにチューリップ

プを

植えに行ったり、終わったら球

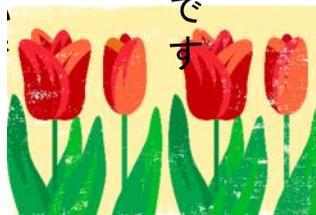
椿原花子さん・・・

チューリップを見て帰荘したと

き、

「チューリップを見に行つち

よった。



上野ハツさん・・・「私は任運

荘に来て良かった。いろんな所に連れて行ってくれる。チューリップも見事です」

ウサギの赤ちゃんをヒザに乗せて、「私はウサギをいっぱい飼うちよった。ウサギを煮て食べよったんで！」

赤嶺ヒデさん・・・自宅の前を

通った時にニッコリほほ笑み、「チューリップ見物には、むかし来たことがある」

満開のチューリップを見て、「美しいなあ」と感激し、滝の近くまで行ったときには、「懐かし

吉良ユキヨさん・・・

「また来年も

椿原花子さん

いつも歌を歌っている椿原さんに、

「今日は歌わないんですか？」と聞くと

「うたわん！」と・・・「どうしたんですか？」

「今日はきちい〜！」

「明日は歌ってくれますか？」

衛藤元吉さん

昼食後、お膳を下げに行くと、笑顔で

「お姐さん！カンピン2本!!」

下膳した寮母が美人？だったのか、

オーダーする衛藤さんでした。



渡邊キヌエさん

「夫婦喧嘩は何ともしれん事で喧嘩になる」「そんな時はどうすれば良いですか？」

「隠れるといい・・・」

男は出て行け～と言うのがほとんど・・・。

そこら辺に隠れて、時間をおいて帰る

麻生マヨさん

「お願いがあります。背中を搔いてくれないませんか」(背中を搔いてあげると)

「あり、気持ちがいい・・・。痒いところに手が届かんという言葉もありますが、まさしく痒いところに手が届きました。」

佐藤義子さん

「それでは佐藤さん。夜勤だったんで、帰りますね」

「じゃあ、あさってまた出て来てな！」

「あさって来ることが、良く分かりますねえ？」

「みんな、そげえするきいな。」

それまで元気にしちやります。さ

川野シズエさん

メガネのレンズが外れ、修理に出している時、

「メガネが無くて困った事はありませんか？」

「なんもかもボーツとして、良く見えんので！」「人の顔は見えませんか？」

「あんたが、いいオナゴに見ゆる。」

寮母さんが、みんないいオナゴに見ゆる！」

波多野ナミコさん

「ご主人の面会后、ニコニコ笑顔で戻って来る。」

「いい話が出来ましたか？」と尋ねると、

「なんちゅう話はせんかったけど・・・。」と、

廣瀬ヒサエさん

「廣瀬さん、最近息子さんが

面会に来られたそうですね。」

息子さんのお名前は何でしたっけ？」

「政美じゃあわあ」と、

久しぶりに言葉が聞けました。





足立ヒサヨさん

足立さんの写真を弟さんが

引き伸ばして、娘さんが持ってきてくれる。

「足立さん、この写真の人はどなたですか？」

「誰かち言うんかえろ？」と、

久しぶりの言葉でした。

古庄信子さん

S寮母の髪の毛を見て、

「いい髪の毛をしちよるなあ。黒々しち

よるなあ！

その先の赤い髪の毛は傷んじよ

るなあ」

「染めているんですよ」と言う

「そげな事すら悪いわあ。いい黒い髪を

衛藤キヨさん

「衛藤さん、今日は入居者・職員対話会ですよ」と

声をかけると

「あんだおん、言いてえことも、

あたしが代わりに言うちやぐる

で！」

「えっ!? 衛藤さん。じゃあ『給料を上げて下さい』と、

言っていただけですか？」

「ああ、言うちやぐるで！今日は施設長

が

羽田野節子さん

起床時に、「胸がドキドキして・・・」と

胸に手を当てている。

「悪いですか？」と聞くと、

「お金持ちになった。

お金がいっぱいの夢を見た・・・」とニッコリ。

川野シズエさん

ベッドでこのソリコンパクトの鏡を見ているので、

「川野さん、何をしているんですか？」と聞くと、

「ウフツ、今な、じいじと顔を見よつたんよ。」

一日に何べんか見ちよかんと荷がおれんのよ」

「え、私なんか朝の一度つきりしか見てませんよ」

「そらあ、あんた、おなごじゃあに、つまらんで！」

と呆れ顔。いつまでも女心：大切です。

衛藤元吉さん

「衛藤さん、奥さんの手料理で、

一番食べたいと思うのはどんな料理ですか？」

しばらく考えた末・・・

「ウーン、やっぱライスカレーじゃあ」

「私も食べたくまりました」

「あんたも、そう思うかやあ!？」と笑顔。

「そげえ言いよら、団子汁も食べとまった」

西ヨシ子さん

「今日は9月1日です。」

誰の誕生日でしょう?」と尋ねると、

「わ・た・し」

「おめでとーございませす」にはつきりと、

「ありがとー!」と言ってくれた。

佐藤大造さん

起床時、「今日、奥さんが来てくれますかね?」

「うちのはずうしん じゃあき

来んじやろう・・・」と弱気。

しかし、その日奥さんがヨーグルトを持って

面会に来てくれました。

安藤コキクさん

息子さん夫婦が誕生日に花を持って来られ、

お嫁さんが「ばあちゃん、お花が見える?」と

顔のそばに持っていくと「見えん!」と言う。

帰られた後に、

「お花が見えんかったですか?」と聞くと、

「へへっ、見えちよつた」と照れ笑い。

安藤コキクさん

毎日、安藤さんの食事介助をする

男性職員が今日はお休み…と伝えると、

「えっ!? どうしたんじやろうかな

あ」と心配顔。

「今日は最初からお休みですよ」と言うと、

衛藤キヨさん

緒方小学校の来荘後、

「私にもあげん時があつたんじや

ろうか…」

古庄信子さん

緒方小学校の来荘時に、小学生と握手をした時、

「ぬくい手やなあ・・栄養満点やなあ」

三代チギさん

戸外散歩の時、

「コスモスが咲いてますよ」。

三代さんは何の花が好きですか？」

「キクです。たくさん植えちよつた

佐藤大造さん

テレビジョンピングを観ている時、

「ダイヤのネックレスが紹介されていますよ。

奥さんにいかがですか？」

「欲しがらん！」

「それなら佐藤さんの愛情の方がいいですね」

と言うと、笑って「そうじゃあ〜」

衛藤元吉さん

「衛藤さん、散髪したんですね。

きれいになつてますね」

「そうじゃあ! きのうしちもろう

た。

あすこん散髪屋はうまい!

持つちよるカミソリが他と違



渡部キヨコさん

ご主人の面会があった時、

「寮母さんに『ありがとう』ち言わんといけんなあ」

と渡部さんに言ったところ

「ありがとう・・・」と微かな声で言われる。

甲斐ヒデコさん

「今日は寒いですよ。」

秋を通り越して冬みたいです」

と伝えると、

「はええなあ・・・」と久しぶりに

はつきりとした声を聞きました。

と笑う。

阿南幸丸さん

「もうすぐ今年も終わりですね。」

また歳をとりますねえ」と言うのと、

「俺はもう歳はいらん！欲しゆねえ！」

衛藤元吉さん

とても寒い朝、ある寮母を見て、

「おおっ！いい靴下しちようるの

！」

「えっ!?これですか？」

「おおっ、いい靴下じゃ!!」

「すみません。これマフラーなんです・・・」

椿原花子さん

「椿原さん、恋をしますか？」と聞くと、

「もう恋はせん!!」と言う。

「どんな人が好きですか？」の問いに

「あっさりした人!!」とズバリ。

椿原花子さん

夜間時の排尿確認の時、

「椿原さん、おしっこを見せて下さい」と声掛けると

「気安う見せん！」とズボンを引っぱる。

「じゃあ、お金を払います」と言うのと、

「お金は・・・いるわあ!!」と言い、

佐藤義子さん

「佐藤さくん」と呼ぶと、「はくい」と元氣な返事。

「高音で良い声ですね」

「そりやあり、山から這い出て来たような

声は出されんわあり、ハハハ」



三代ハツヨさん

「ふる里訪問で家に帰ったんですね？」

「とーてん良かったで。饅頭やら煮しめ
やらあっち、世話をやいちくれた。

帰っちみち、肩ん荷がおれち安心した。

おおきに、すんません」「良かったですね。」

五嶋定能さん

「朝ごはんをお持ちしました」と訪室すると、
「ありがとう」と、

はつきり言ってくれました。

吉良シズヨさん

寮母室前の花を見ていたので、

「きれいなユリですね」と声をかけると、

「かわつちよんな」と、

はつきり答えてくれました。

吉野秀子さん

「変な夢を見たんです・・・」

「どんな夢を見たんですか？」

「私が作った服を松田聖子が着てたの！

それも肩がほつれてて。教えてあげないと、

と思っていたら目が覚めたんですよ・・・

変な夢でしょ!？」 「私は小島よしおが

出てきて、うなされることがありますよ!」

椿原花子さん

夜中、眠らずに歌を歌っているので、

「椿原さん、眠れないんですか？」

困りましたねえ」と言うのと、笑いながら

「うちも困っちゃうんじゃない!!」

寝そこのゝたきい!」

上野ハツさん

明大OBの方々の合唱を聞いた後の感想、

「まあ、幕が開いて黒い服を

着た人たちが立っていて、

『わあ〜』っと思っただけでした。

『わあ〜、すごいなあ』と感動したわあ。

初めてあんな歌声を聞いたわ〜」

佐藤大造さん

「佐藤さん、奥さんが良くしてくれますねえ。

大事にされてますねえ」と声を掛けると、

「そりゃあ反対じゃあ!」

と笑いながら答えました。

阿南幸丸さん

息子さん夫婦が面会にみえたので、「今日来てくれ

たのはお兄さんの方ですか、弟さんの方ですか？」と

尋ねると、「兄貴の方じゃあ!」と言う。

「弟さんと良く似てますねえ?」と聞くと、

「兄弟じゃあき!!」 おっしやる通りです。

衛藤元吉さん

「息子さんが靴下を買ってきてくれましたよ。名

前はお嫁さんが縫い付けてくれたみたいですよ」

「えっ、賢が買うちきちくれたんな!?!」と少

し涙声。「そうですよ。家族の人が良くしてくれ

るんで、長生きをせんといけませんねえ」

「おう、百まで生きるといけんなあ」

児玉才元さん

「お昼ご飯をお持ちしましたよ」と手を握ると、

「あー、二げえ冷とつじ・・」と、

私の手を包んでさすってくれました。

児玉さんの手はとても温かかったです。

佐藤義子さん

「90にもなったら何もかんも

するのがよだきいんよ・・・」と、

ポツリと言われた。

足立貞良さん

花見ドライブの時、

「桜の花がきれいですねえ」と言うのと、

「こん歳になつて、初めて御嶽ん桜が、

こげえ美しいのを初めて見ました！」

と喜んでいた。

吉庄信子さん

「こん桜ん木は、何十年くらい

たったんじやろうなあ・・・」

と、桜の木をしみじみと見ていた。

内海敏子さん

原尻のチューリップ見物の時、

「美しいなあ。私も昔 球根をもらつて

自分方に植えたことがあります」

と、笑顔で言いました。

工藤ハツヨさん

子どもさん方と神戸に旅行に行き、

任運荘に帰られた日のこと。

「船は酔いませんでしたか？」

「船を飲んじよらんから、

酔わんわ！ハハハ」と、大笑いする。

衛藤元吉さん

「わしは運がいいんじゃ！」と突然言う。

「私にも分けてください」と言うのと、

「おう、いいぞ！ちつと分けちやる。

余計分くると、わしの分が

のうなるきな！」

(のうなる・・・無くなる)

眞部信義さん

「あんた 歳はいくつ？」と聞かれ、

かなりサバを読んで「は・た・ち」と答えると、

疑いの眼差しながら・・・

「フゥゥゥン・・・」

まあ 若いっちゃ 若いわなあ〜」

上野ハツさん

「もう苦しまんでポツクリ

いっていいんやけど・・・」と言うので、

「そんなこと言わんでください」と伝えると、

「まあ、看護婦さんと一緒に

おっちよきてゝき

元気でおりましよう！」

椿原花子さん

居室で何か歌声が聞こえてくるので、

「椿原さん、何を歌っているのですか？」

すかさず「恋の歌！」

佐藤大造さん

夕食の助食中、

「奥さんも今頃テレビを観ながら

一人で食べてますかね？」

「一人じ食ぶると

味気ねえじゃろうなあ・・・」

衛藤キヨさん

「母の日」に頂いた花に水をあげながら、

「私は花を育てるのがヘタで、

枯らすのが得意なんですよ」

「いいわええ、

花を育てるのがヘタでん、

子供育てるのがうまから上等！」

「あまり子育ても

上手じゃないんですけど・・・」

波多野ナミコさん

ご主人の面会の後、

「良く面会に来てくれて

優しいご主人ですね」

「そげええねえんで」と照れ臭そう。



椿原花子さん

一晩中、歌を歌っていた椿原さんに翌朝、

「どうして眠らなかつたんですか？」と聞くと、

「眠らんかつたんじゃないやねえーで。」

眠られんかつたんで。

歌が好きじやき、

眠られんかつたんで！」

椿原花子さん

「椿原さん、眠らないで何してるんですか？」

「今な 酒を配つちまわりよるんじや！」

「私にもお酒をついでくれませんか？」

「後で ついじやあき、

まあ待つちよきよ！」

吉野秀子さん

夜間のトイレ介助の時、

「ごめんなさいね。みんなが寝てるのに、

あなたがたに働かせて、気の毒いわ」

工藤ハツヨさん

盆帰省の時に、

「いつてらつしやい」と見送る施設長に、

「あんたも行くこうえ・・」

(徳田は) いいところであ〜」

河野咲子さん

入浴に行く河野さんに声をかけると、

「きれいになってくるね」とお風呂に。

入浴後、「きれいになりましたね」と言うと、

「まあ 恥ずかしいわ・・」

と顔を赤らめる

衛藤元吉さん

「俺は前の町長の後を継いじ、

町長になるんじや！」

給料はまあ・・50万でいいのう」

と意欲満々の衛藤さんでした。



児玉ハチヨさん

足を動かしていたので、
「足が痛いですか？」と少し足を動かしてあげ、
「これで良いですか？」と聞くと、
「ようなつた！」と、久しぶりに言葉。

眞部信義さん

「あんた どん人なあ？」と聞かれ、
お話しを続けると、「さみしい・あんた
ここにおつちよきなあ」と言われる。

佐藤義子さん

「佐藤さん 散歩に行きませんか？」と誘うと、
「へえ 三步どころか五歩も
六歩も 行きますのでえ〜！」

眞部タマエさん

誕生会の時、誕生者の三代ハツヨさんに、
「食事の時には、いつもエプロンを
かけてもらって助かっています」
と涙ぐんでお礼を言い、

上野ハツさん

「新聞を読まんと世の中ん事が分からん。
新聞を読めば、90でも100でも頭がボケン。
私は何でん覚えたい！」
変わる世の中を見たいんよ〜」

阿南幸丸さん

奥さんの面会后もニコニコ顔の阿南さん。
「笑いが止まらんですね〜」と言うと、
「泣くより いいじやろ!？」

二人で握手をしました。

阿多テル子さん

ワックスがけをした廊下を見て、

「とてん 美しいわあ」

たまがった！ お疲れ様でした」

児玉ヲモトさん

食事をお持ちすると、

「みなさん おはようございませす！」

眞部タマエさん

近くの自宅から戻り、送ってくれたお嫁さんに、

「ともちゃん あんたも体に

気をつけなあえ！」

工藤ハツヨさん

「今みんな子育てに苦勞してませす。

工藤さん、子育てのコツを教えてください」

「子育ては・・ゲンコツ！ アハハ」

椿原花子さん

「気分はいかがですか？」

「今は 気分いいです」

「今は・・というと、前は悪かったんですか？」

「さつき風邪をひいちよったけど

もう ようなった・・」

佐藤大造さん

テレビでピアノの演奏が流れていた時、

「すてきなピアノの音色ですね。

この方は全盲で、

世界一になったんですよ」

「え？!? すごいなあ」

と驚き、テレビを

ずっと観ていました。





吉良ユキヨさん

外の花壇を手入れしている職員の姿が

気になる吉良さん。ベッドから起き上がり、

「土のにおいがする・・・」と笑顔。

工藤ハツヨさん

入浴の時、工藤さんのお腹を見ながら、

「この中は赤ちゃんが入っているのでは？」

「赤ちゃんじゃねえで、黒ちゃんです」

衛藤キヨさん

「ありがてえ、なあ、

こげえ しちもろうち・・・

あんたどうが歳をとった時も

こげえ しちくるるしが

ありやいいがなあ・・・」

と心配してくれる衛藤さんです。

渡部キヨコさん

「渡部さんは緒方のどこでしたっけ？」と聞くと、

「かみとしの」と

ハッキリとした口調で答えてくれる。

渡邊キヌエさん

「ハミガキに行きましょうか」の声掛けに、

「私は 用はない！」とキツパリ。

衛藤元吉さん

盆踊りの時、浴衣姿の寮母を見て、

目をパチクリし、「どしたんな!？」

今日はえらい若作りじゃねえな？」

「美しいですか?」

「ああ 美しいけど」

千明(奥さん)にはかなわんわなあ」と笑う。

工藤ハツヨさん



「どうして太ってくると、

お腹が大きくなるんですかねえ？」

「あんた、赤ちゃんも出来ちよらんに、

腹がふくれたんな!？」と笑う。

「すらっとした体型になりたいです」

「あんなあ、そげん体型やら

品やらよりも、

うちは健康であることを願いたいです」

その通りですね。

西 ヲシンさん

髪の毛をバツサリ切ってきた寮母が、

「西さん、私の髪型どうですか？」と聞くと、

「まあまあじゃ!!」とバツサリ。シヨックを

受けた寮母は一日立ち直れませんでした。

渡邊キヌエさん

靴を履くのを手伝っている時、

「下手な人、ちよつと上手い人、本当に

上手い人ちおるけんど、あんたは本当に

上手い人の部に入るなあ」

と言ってくれました。うれしい限りです。

佐藤義子さん

寒がりの佐藤さんが、服を着込んでいたので、

「もつと寒くなったらどうしますか？」と聞く

と、「もつとさむなったら、

布団を着ち出ちくるわ!」

足立貞良さん

ホールのDVDで神楽を見ていた時、突然、

荒神の場面で止まってしまひひと言。

「(酒を)一杯やらんと動かんのじゃろう」

周囲の利用者は大笑い。

内海敏子さん

入浴後、肌がカサカサしていたので、
薬を塗りながら、「年をとると脂分が

足りなくなるんですよ」と伝えると、

「どこからアブラを

さしましよう？」と笑顔。



三代ハツヨさん

夜間、訪室すると、

「タケノコを入れて、

団子汁を作りよった!!」と言う。

そして笑い出し、「夢じゃった!」とまた大笑い。

「さつき寒いと言ってたけど、今はどうですか?」

と聞くと、「だいぶ良うなった」

「夢のおかげで温まりましたね」と一緒に笑う。

上野ハツさん

「私はテレビを見ます。

テレビで分かん事は新聞を見ます。

今、偉いし(人)が悪い事ばかりしよる!!

70にもなっち、そげえお金も

いらんごとあるけんど・・・」

おっしゃる通りだと思えます。

佐藤 義子さん

職員がラジオ体操をしていると、

ひとりの職員をマジマジと見てひと言・・・

「あんた、病人のごとしちよる。

もっとはつらつとした

顔をしなさい!」

佐藤 大造さん

起床時、お部屋で一番最初に起きたのが

嬉しかったのか、「一番じゃ!!」と笑顔。

衛藤元吉さん

育児休暇の職員が赤ちゃんを連れて来た時、

「衛藤さん。赤ちゃん、可愛いですよ」と見せると、

「おう！ ええらしいのう！」

「こりやあ男前じゃあ!!」

「衛藤さん、女の子ですよ!!」

「おう!? こりやあ、べっぴんさんになるぞ!!」

と、小さな指を触りながら目を細めていました。

椿原花子さん

昼食の時に突然「きんぴらじゃあ!!」と言う。

「今日のおかずは、きんぴらじゃないですよ」

「あんなあ、きんぴらつち、すぐ怒ったり、

泣いたりする人んことを言うんで!

私やちがうけんどな!」

阿南幸丸さん

「今晚、いい夢を見てくださいね」と言うのと、

「何の夢を見るんな!？」と、

「そりや、奥さんの夢に決まっているのでは?」

「年寄りを冷やかすもんじゃねえ」と笑う。

西 ヲシンさん

戸外散歩をしていた時、散歩を

していた近所の飼い犬(小犬)を

見つけると、顔を近づけ、

「かわいいなあ! キスして!」

キスして! 抱かせて!」と西さん。

小犬は言葉が分かったのか、

西さんの顔を。へろへろ舐めました。

上野 ハツさん

ホールのテレビを見ていて、

「寮母さん。芸能人が

14歳も年下のお嫁さんをもろうて、

『恋愛に歳は関係ない』 ち言いよったです」

「そりやあ、上野さんも頑張らんといいけんですね」

「ははっ(笑)、そげえ言うても、

ここには私好みの男しがおらんのです」

と、私の腕をたたいて笑う。

羽田野シユクさん

(元旦の職員との互礼会の時)

「あんたどうが、大変優しく接してくれ、夜も嫌な顔をせず、トイレに2回も3回も行かせてくれる。涙が出るわあ」

足立ヒサヨさん

101歳の足立さんの食事介助に行った時のこと。

「足立さん おはようございます。」

朝「はんですよ」と声をかけると、

ニコッと笑い「はい」と、久しぶりに

足立さんの言葉が聞けて、うれしくなりました。

衛藤 キヨさん

目薬の時間に、「自分でさせますか?」と尋ねると、

「さしきらん! 目からぼるる!」と言う。

同じテーブルの足立さんは笑いながら、

「ぼるる(こぼれる)ちゃ、久しぶりに聞いた」

羽田野節子さん

夜勤入りの時、お部屋に訪室すると、

「朝な?」 「今から夜ですよ」

「あんたどうも大変じゃなあ。寝られんやろ?」

「お昼寝をしてきたし、少し仮眠もできるんですよ」

「それでん大変じゃなああ・・・」

と、うれしい言葉でした。

渡部キヨコさん

夕食前に体交をし、「渡部さん、あとは看護師さんが食事の準備をしてくれますよ」と言うのと、

「お願いします」と大きな声。

児玉オえさん

介助している手をさすりながら、

「どうしち、こげえ手が冷てえんな!?

こん中に一緒に入っち温まりよ!」

と布団の中に私の手を入れてくれる。

児玉さん、手も心も温まりました。

ありがとうございます。

椿原花子さん

「今日は眠れないんですか？」

何か考え事があるんですか？」

「悩みごとなら、なんぼでんある。」

「私が加勢しますよ。悩みは何ですか？」

「それは秘密じゃあわあ！」

高宮久子さん

職員がお部屋に入ると、

「どうしたんな？そげえ白く塗っち!？」

「えっ、そんなに白いですか!？」

薄化粧なんですけど……」

阿南幸丸さん

「お誕生日おめでとうございます。いくつですか？」

「ちようど 90 じゃあ。」

100 までまだ 10 年ある」

「そう言わず 110 歳、120 歳までがんばりましょう」

「頑張り屋さんやけん!!」と笑顔。



工藤スミコさん

面会に来られたお嫁さんとの会話……

「ばあちゃん、私は誰かなあ？」

「知らん……」

「ばあちゃん方の嫁さんじゃわえ〜」

「うちん嫁は、もっとズッピンじゃ!」

「ばあちゃん。喜んでいいんか、悪いんか、悩むわあ〜」

「……」 工藤さん、無言になる……

安藤武士さん

戸外散歩の時、玄関の下がり梅を見ながら、
「もうすぐ春ですわねえ。」

梅の花もきれいに咲いてますよ」

空を見上げたり、花木をキョロキョロ見て、
「ああ」と笑顔。

利根正子さん

テレビでピアノを弾いているのを観て、

「私は子どもの頃、ピアノを習いたかったです」

「はよ言うちくれたら、

私が教えちゃげたい！」

「利根さん、凄いい！ピアノが弾けるんですね!!」

「うんにゃ、できません!!」と即答した。

古庄喜久生さん

「今日は天気が悪いですね」

「気圧の谷じゃ!!」

「スプーンを使うのが上手くなりましたね」

「そげんことはねえ。下手じゃ!」

工藤ハツヨさん

「主人に言うことをきかせるには、

どうしたら良いですかねえ?」

「うちん旦那は言うことを

きかんことなかなかかったよ。

「旦那がいいんは奥さんがいいけんや!」

「相手の粗を探したらキリがねえ。」

「いいところを見てあげんと!!」

耳の痛いお言葉です…。

後藤サツキさん

寮母と抱き合っている所を他の寮母が見つけ、

「まあ、二人で何をしてるんですか?」

「二人でキスしよるんよ!」

後藤さん、若いんですね。参りました…。

吉野秀子さん

町内の衣料品店で買い物をしてきた吉野さんに、

「買ってきた服がいいですね」

「そうですね。私は昔から服を選ぶのが

上手ねって言われてたのよ。」

「本当に上手でしょう!!」と笑顔。

三代ハツヨさん

夜間の介助の時、

「三代さん、手が冷たくてすみません」

「すまんののはこっちの方じゃわあ。」

手をとつちごめんな。」

その優しさがとてもうれしかったです。

眞部信義さん

「私の家を知つちよる？」と聞くので、

「知ってますよ。眞部さん方は、床屋の隣ですね」

と言うと、目を大きく開け、

「足が悪いもんじゃけん、なかなかなあ」

「今度、自宅に行つてみましようか？」

「そうですねあ」と笑顔。

波多野ナミコさん

ご主人が面会に来られた時の会話…

(ご主人)：「ほんなら、帰るきの！」

お前に会うのが楽しみじ、来よるんぞ!!

「あんたも一人で、寂しいじやろなあ…」

と、二人で手を握り合う。

何となく私も幸せになりました。



佐藤 義子さん

「いつも娘さんが来てくれて、いいですねえ！」

「あんなあ、一人娘と思ううち、

優しいと思うたら、

そげえねえんで。」

「いつも優しそうですよ！」

「来たたんびに、あんまり

ウロウロしちやあいけん!!ち、

怒らるるばかり…」

と、本当は嬉しい佐藤さんでした。

古庄喜久生さん

夕食時に配膳すると、すぐに食べ始め、

「美味しいですか？」と聞くと、

食べるのに忙しい古庄さんは、「おお!!」

「今日のは特に美味しいですよ」と言うのと、

また「おお!!」

「美味しくて、ほつぺたが落ちますよ」と言うのと、

「そら困る!!」

足立 貞良さん

面会の娘さんが帰られた後、

「今日も足を動かさせ、動かせち、

やかましいんじゃ!」

「寮母さんより、厳しいですねえ」

「娘ん言うこたあ、ちゆうぐれ(半分)

聞いちよかい!」と笑う。

椿原 花子さん

テレビ番組のハワイ特集を観ていた時、

「ハワイに行きたいですか?」と聞くと、

「そげんこと言うてん、

行っきらん!」

「もし行けたら何をしたいですか?」

「そうじゃら、

洗濯を一生懸命するで!!」

阿多テル子さん

五月祭の模擬店を思い出し、

「あんたが、こうちくれた綿菓子!

とてんおいしかったわあ!!

また来年も買おう!」

古庄町子さん

後藤サツキさんの会話

古庄さん:

「こん歳になっちみらんと

私ん気持ちは分からんで!!」

と言うと、後藤さん:

「私は町子さんとひとつしか歳が

違わんのじゃけんど・・」と苦笑い。

阿南宗一さん

車いすを自操して、一番端の居室に行っていたので

「どうされました?」と尋ねると、

「散歩です」と言い、部屋を見渡すと

女性の部屋だったため、

「これはいけませんね・・」

戻りましょう!!」と笑顔で答える。

工藤ハツヨさん

健康診断の採血をしていると、

「そげえ採ったら、

血がねえなるじゃねえな！」

「検査が済んだら、返すように言っておきましよう」

と言うと、笑いながら

「そげんもん、もろうてん困る!!」

阿部マサヲさん

産休の文東寮母が

赤ちゃんを連れてきた時、

「ええらしいなあ。」

「どこ見ちよるんな？」と、

満面の笑顔で赤ちゃんに語りかける。

古庄町子さん

ショートステイ、送り時の車中で、

「となりん家に行つてん、

ここ(任運荘)には来ん！ハハハ!!」

と豪快に笑いだす元気な古庄さん。

吉野秀子さん

お盆の「迎え火」の時、

「迎え火はいいですねえ。

情緒があつて、

幼い頃を思い出します」

工藤スミコさん

離床していたので、「工藤さん！」と声をかけると、

「私はあなたたちの笑顔を見るのが一番です。

私は暗いのは好かん!!」

にぎやけえのが好きじゃあ!!」

「工藤さんは何歳ですか？」と聞くと、

「私は十八歳！」と笑いながら言う。



甲斐ヒデコさんのお孫さん

「言葉聞くことが

できなくなりました。

私が小さい頃、風邪をひいて

頭が痛い時、ばあちゃんは、

私の頭を揉んでくれました」

と甲斐さんの頭を優しく揉みながら、

話してくれました。

佐藤義子さん

娘さん夫婦が誕生日プレゼントを持ってきた時、

娘婿さんの顔を見るなり、

「なんなえく。うち(私)より、

病み上がりんような顔をしちく〜!」と

笑いながら言う。後で娘婿さん曰く「90のじいさ

ん

上野ハツさん

「施設長が「任運大学」で話しよったけど、

戸籍では120歳以上が^{1,000}人も

生きちよるち、黒板に書きちよった。

家族が年金を

騙し盗ろうとしたんでしようなあ。

あげんことしたら、ご先祖様に

申し訳がたんですわなあ。」

上野さんのおっしゃる通りです。

衛藤元吉さん

入浴の時の会話……

「おつ!ここはフランスかのう!」

と、不思議そうに言う。

「えっ!?ここは日本の緒方ですよ」と言うと、

また「ここはフランスかのう!」

と、納得がいかない様子。

よく見ると介助していた寮母の髪が茶髪でした。

古庄喜久生さん

朝食の時、「頭がいてえ！」と言うので、「どうしたんですか？」と聞くと、

「夕べ飲みすぎた!!」

「もしかして、二日酔いですか？」と聞くと、「そうとも言うなあ。」と笑う。

足立貞良さん

サーカス見物の時、

「サーカスは、懐かしいんじゃないですか？」

「懐かしいもなんも」

70年ぶりくらいじゃなあ!

昔とちがうて、サーカスも

変わったなあ・・・」としみじみ言う。

渡邊キヌエさん

百歳の「お祝いの会」の後、お部屋で

お祝い品や賞状の整理をしている娘さんを見て

「加勢しようか?」と声をかけていた。

眞部タマエさん

「魚釣りゲーム」をした後、

トイレに行つて戻ると、

「戻ってきたら魚が無い!」

猫が持つていった!! ハハハ」と笑う。

利根正子さん

シヨートステイで退所する時、

「今日はご主人の正直さんと

一緒にお家に帰りますよ」と伝えると、

満面の笑みで、

「まあうれしい!」

あんたも遊びにおいでちよくれ!!」



河野咲子さん

同じお部屋の利用者を

ベッドから車イスへ二人で抱えているのを見て、

「いいなあ。私も抱っこして！」

羽田野シユクさんと

利根正直さん

サーカス見物の後、パークプレイスで羽田野さんが

“化粧品コーナー”で化粧品をした時のこと…。

利根さんが羽田野さんの顔をジューツと見つめていると、

「おじいさん！（利根さんのこと）」

私が美しなつたもんじやき、見よんの？

こげえあつたら嫁ごにもろうちくるる？」

と聞くと、利根さんはずつと無言だったので、

「なんな！やっぱ嫁ごに

もろうちくれんのな!？」

と二人で笑い合う。

羽田野シユクさん

入浴時に鼻の下の産毛を剃り、

「きれいになりましたよ」と言うのと、

「あゝ 大将になろうと」

思うちよつたにいく」

「それはすみません」と言うのと、

「うそじやく、ありがとう」と笑う。

川邊輝義さん

朝の髭剃りの時、「男性の髭剃りはなかなか

難しいです。どういう風にしたらいいですか？」

「下から上に剃りやいいわあ・・・」

「こんな感じですか？」

「おう！いいぞ！」



古庄ヤヲさん

「何でん かんでん すぐ忘れちしもうち

ちつとおなごおー生きすぎたなあ・・・」

「どうして忘れるんですかねえ？」

「頭んてっぺんに穴があいちよつち

そこから抜けちいく・・・」

「じゃあ、私がそこに栓をしましょう！」

「あく そりやあ ありがたいなあ〜」と握手する。

後日、古庄さんとお嫁さんの会話・・・

「ばあちゃん、このごろ頭が冴えちよるなあ

〜」

「こん前 こんん人が栓をしちくれたきなあ〜」

吉野秀子さん

ベッドの上半身を上げる時、

「ベッドを上げます」と言うのと、

「なんかエレベーターみたいだね！」と

言うので、「上にまいます」と言いなおすと、

「エレベーターガールみたいね！ホホホ」

と笑い出す吉野さんでした。

河野咲子さん

戸外散歩の時、

河野さんの車いすを押していると、

「おばちゃん 今度は私が押すから

これに乗ってよ！」

古庄喜久生さん

夕食の時、

「今日は院長(施設長)は

来ちよらんのかえ〜？」

「今日は日曜だからお休みですよ」

「おう!? だつちよんのう！」

※「だつちよる」とは、気合が入ってないの意。

吉良瑞恵さん

点滴をしている時、「きついですね」と声をかけると、大きくうなずき、

そしてニツコリと微笑んだ。

古澤マチコさん

最近、太ったことを気にしている寮母に、

「寮母さん、この頃ちつとお かけめ(体重)が いみつた(増えた)んじゃないやねえな？」
と、本当のことを言っていた。

「古澤さんのおかげで方言を聞くことが多くなりましてねえ。『かけめ』なんてしばらく聞きませんでしたよ」と言う。

「どげえ言うたち、生まれついたもんじゃき しようがねえわ！」と笑う。

利根正子さんと利根正直さん

口紅を塗りご主人の正直さんに会いに行き、
「お父さん 私は美しい!？」と聞くと、

「ああ」と答え、
「惚れなおしたじやろう!？」の間に、
大きくうなずき、

「美しい！」と言った正直さん。

眞部タマエさん

同じテーブルの二人が口紅を塗った姿を見て、
「私も！」と眞部さん。口紅を塗ると、
「お父さんに会いたくなくなった！」
と笑顔で言う。

阿南宗一さん

「阿南さん、可愛い女の人は、
よく騙したりするんですよ。」

私の様な中ぐらいが一番いいですよ！」
と言った寮母が居なくなると、
「ああいうのを “てまえみそ” って
言うんですよね・・・」

西 ヲシンさん

鏡を見て頭を触りながら、

「あーっ、こげえ白髪になつちよる！
おかしいなあ・・・私やまだわけえになあ」
と真剣な西さんに、「歳相応ですよ」と言う。
「いいや多いわ！」と笑う。

桜やチューリップを見て…

古庄キヌエさん

「きれいやなあ。こんな嬉しい事はないよ」と桜を見渡していました。

堀 己代子さん

見上げて「きれいや…」

眞部タマエさん

「雪が降りよるようやなあ」と

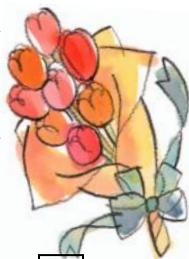
感激していました。

阿南幸丸さん

「(チューリップは)あんまり咲いちよらんなあ。いっぱい咲いた時にまた来るとなあ…」

首藤 繁子さん

終始笑顔で、子ヤギに目を細め、特に見物の子どもたちを目で追って、優しい穏やかな顔をしていました。



羽田野シユクさん

「きれいですなあ。こげえ連れち

回っち もろうたのは初めてじゃ」

乗馬用の馬を見ると

「乗っちみてえなあ」と言い、

終了した事を告げられると

「嘘で、嘘で」と

慌てて顔を隠す羽田野さんでした。

後藤 治生さん

「(外出は)たまにはいいなあ」と笑顔で言い、アイスクリームをゆっくり味わって食べていました。

阿多テル子さん

見物客の子どもが走り回っているのを見て「危ねえで！」と声をかけ、「可愛いなあ」と何度も言っていました。

利根正子さん

「ご主人の正直さんが正子さんに

結婚を申し込んだ、と言っていましたよ」

「そげな事もねえけど、

昔は男ぶりが良かったんで！」

と嬉しそう。

古澤マチコさん

入浴時に湯船につかり、

「あく、こんころもちがいい」と言うので、

「こんころもちがいいって、

どう言う意味ですか？」と尋ねると、

「とてん気持ちがいい！ということ」

と気持ちよさそうに教えてくれる。

川邊輝義さん

看護師が訪室した時、ニコニコしていたので、

「何かいい事があつたんですか？」と聞くと、

「そげえ、いい事なんかありやせんわあ」

と言いながらもニコニコ顔の川邊さん。

渡部キヨコさん

「渡部さんのご主人の名前は何でしたっけ？」

「か・ず・ゆ・き」 「じゃあ息子さんは？」

「て・つ・お」 「じゃあ娘さんは？」

「と・も・こ」と、

声を出して答えてくれました。

工藤ハツヨさん

朝、窓の外を見ながら・・・

「あんな大きな電柱は何年経ったら

大きゆうなるんじやるか!？」

「今はコンクリートで出来ていますよ」

「えくっ!?!聞いてビックリ、

見てビックリ!」と目を丸くし、

「それも作るのが大変じゃわなあ」

と感心していた。



衛藤キヨさん・西ヨシ子さん

衛藤さんが西さんを見て、

「かわいいなあ」と言うのと、

西さんは嬉しそうに

「そうかなあ。すんません」と言う。

衛藤さん：「若くてベツピン！」

西さん：「どう、しゅるか、まあ」と

またまた嬉しそうな西さんでした。

眞部タマエさん

風邪をひいて咳き込む寮母が訪室した時、

「大丈夫な!? 自分の身体を

大事にしなさいよ」と

優しい言葉をかけてくれました。

首藤繁子さん

「首藤さん、担当の高橋です」と言った翌日、

「首藤さん、私の名前が分かりますか？」と

聞くと、「……」

「たか」と言うのと、「はし」と、

続けて言ってくれました。

清水シズ子さん

ヒザを曲げた寮母が、

「あゝ、ヒザが痛いんですよ。困ったもんです」と言うのと、

「なし」ヒザがいてえんな!?」と聞くので、

「体重が増えたんです……」と答えると、

「そりゃあ、三べんご飯を食ぶるところを

一へんに減らさなきゃあ、わるなるで……」

と言ひ、「それがでけたら

一番いいんじゃないやけんぞなあ！」と笑う。

古庄町子さん

本棚の本をジッと見ていた時、

「今日は何を読みますか？」

「これにしようなあゝ」と取り出したのが、

「愛と悲しみの季節」……

「古庄さん、若いですねえ」と言うのと、

「あははは〜！」と笑い飛ばしてくれました。

後藤ミチコさん

後藤さんの前で少し踊ってみた時、

「立派じゃ！ 軸丸神楽も負くる!!」

と笑顔になる。

阿南宗一さん

昼寝から目覚めた時、

「楽あれば苦あり 苦あれば楽あり

人間ちや馬鹿なもんじやなあ・・・」

「私の葬式の夢を見ました。私は生まれ

変わりましたんで元気がいいです。

次も家内と巡り会いたいです」と、

はつきりと話してくれました。

高宮久子さん

お部屋で目を閉じている高宮さんに、

「高宮さん!」と声をかけると、パッと目を開け、

「あんた! 悪いんじやねえんな!?

顔が腫れちよるで!」と言う。

「腫れてはいませんが・・・、

お医者に行った方がいいですか?」と聞くと

「そげえ しなあ!」と言ってくれる。

阿南宗一さん

車イスへの移乗介助後にかがんだ寮母が、

「あく、ヒザがこの頃、痛くなりました・・・

歳をとりましたわあく」と言うのと、

「順等(年相応)にいつてますね・・・」

と含み笑い。

渡部キヨコさん

「渡部さん、おいくつになりましたか?」と聞くと、

笑顔で「五十・・・」と答えてくれる。

「プレゼントは何が良かったですか?」と聞くと、

「お・か・し」と答える。

古庄町子さん

送迎車の助手席に乗っていた古庄さん:

キラキラした車とすれ違う。

「お神輿かなあ〜!?!」と古庄さん。間

髪入れず、「**霊柩車**ですね・・・」

と

真顔で答える職員。少しの沈黙の後、

古庄喜久生さん

「古庄さん、今日の体調はいかがですか？」

「体調!?! 体調はいいで！」

「どこも悪いところはありますか？」

「僕の悪いところは、口だけじゃ」

後藤ミチコさん

食事中良く口を動かし、食べるのが早いので、

「今日は調子がいいですね!?!」と声をかけると、

「今日は腹が減つちよる！」と笑顔。

食べ終わり、「お腹いっぱいになりましたか?」と聞くと、「腹八分じゃ！」とまた笑顔。



羽田野シユクさん・古庄重子さん・古庄町子さん

三人で井戸端会議中・・・

「昔とちごうち、

今ん嫁さんはついいいゝきなあ!

うちどおん時は 姑さんの言う事を

何でんかんでん聞いて

「ハイ」とひとつ返事じゃったわなあ」

と一人が言うのと、

「そうちや、そうちや」と皆さんで相づち:

◎「いい話で盛り上がってますね」。

私もかてて下さ〜い」と行くと、

「あらま!! 悪い所を見られたなあ・・・

あんたも姑さんになったら、

嫁さんに優しくしなさいえ!」

佐藤義子さん

面会に来られた娘さん夫婦との会話…

⑨「娘さん夫婦に、いつも来てもらっていいですねぇ!？」

「へえ、こげんいいことがあるうか！」

じゃけんどなあ、娘がいいんじゃねえんで！

婿さんがいいいき、緒方に来ちよるんで!!」

娘「ばあちゃん、気の利いたことが言えるなあ！」

「病気をしちよるもんじゃき、こげえなった」

娘「ばあちゃんの病気は、どこも痛くない病気やけん

いいなあ」と言うと、「へへっ」と笑う。

堀己代子さん

夜間時に顔を見に伺うと、

「ウチがここに居つちよるのを家人人は

知つちよんの!？」と何度も聞き心配そう。

「大丈夫ですよ。堀さんがここに来た時、息子さん

夫婦も一緒に来られたんで知ってますよ」と言う

「そくな、知つちよんじゃな」とひと安心。

佐藤義子さん

「今日も娘さんが来てくれましたね！」

と言うと、

「ようきちくるるのはいいいけんど、

お説教がおもですからな・・・」

と笑う。

清水シズ子さん

某大臣の辞任のニュースを聞いて、

「偉ければ偉い人ほど

悪いことするなあ。

貧乏人ほど

よつぽど真面目じゃ！」

と苦言を呈す。



甲斐アヤコさん

九十八歳の甲斐さんとお孫さんの会話…

孫「ばあちゃん、顔色がいいなあ！」

「困んなあ。なし死なんのやろか？」

こげん歳になつたに…」

孫「あんなあ、ご飯を食べんかつたら死なるで」

「メシを食いやめたら、

ひもじいじゃねえな」と二人して笑う。

お孫さんが帰られると…

「じきの孫じゃもんじゃき、憎たれんじよう

言うけど、あげえあつてん、

ええらしいんで！」と嬉しそうに話す。

阿南幸丸さん

「明日の昼ごろに台風が来るそうですよ！」

「台風なんか来んでいいに…」

何しに来るんか聞いちみろう。

でも日本語が分からんじゃろうな」

古庄喜久生さん

日曜の「のど自慢」を観た後、ベッドに休むと

「今日はもうNHKに

行かんでいいんやの!？」と言う。

「何か歌うつもりだったんですか？」と聞くと

「橋 幸夫じゃ!!」と答えてくれる。

古庄キヌエさん

選挙の説明をしている男性職員を

候補者と勘違いしたのか、

「頑張つちよくれな！」

私が応援してますけんな!!」

と励ましていた。



川邊輝義さん

入浴日に、「お風呂に入りましょう！」と誘うと、「そげえしゆうかのう！」

「私も入りますが、他の人がいいですか？」

「いいぐれんもんじゃねえ!!」

と泣き笑い。

利根正子さん

対話会の時、

「何か困っている事はないですか？」と聞くと、

「困ったつちなあ・・・」

何も言うことがねえなあ・・・」

「食べたい物はないですか？」と聞くと、

「食べたい物は みな食べたい！」

古庄町子さん

「どこか行きたい所はないですか!？」と聞くと

「お墓!!」と大きな声で笑って答えた。

足立貞良さん

入社式の時、利用者代表でお祝いの挨拶をする。

「新しい職員の皆さん、

どうか自信を持ってやって下さい。

自信を持つことで おのずから

責任感が湧いてきます!!」ときっぱり!!

「立派なご挨拶でしたね!」と言うと、

「なかなか 口がマメらんじ 困った・・・」

と照れ笑い。

工藤ハツヨさん

「今日の味噌汁は特別おいしいなあ!!」

と言っていたので、「前の担当がお手伝いをして
いるからでしょうかね!？」と笑いながら言うと、

「そうかもしれないなあ・・・」

人によって違うわなあ・・・」

と言葉をくれました。

吉野秀子さん

雨降りの日、「良く降りますね。

南に台風があつて、前線を刺激して

いるそうですよ！」と伝えると、

「何だか ヨウカンみたいですね・・・」

「ヨウカンですか？」と聞くと、

「予報官(よほうかん)です！」と・・・。

食いしん坊の私には「ヨウカン」と

聞こえてしまいました。

後藤ミチコさん

夜勤の時、「後藤さん・・・」と声をかけると、

「今晚の夜勤はあんたな!!」

大変じゃあな。ありがとう！」

と声をかけてくれる。



羽田野シユクさんと古庄町子さん

本を読んでいる古庄さんと羽田野さんの会話・・・

〔羽〕「おばちゃんはいいつも感心に

本を読みますなあ!!」

〔古〕「へえ あんた 本でん読んじ

勉強せにやあ 頭が悪なる！」

〔羽〕「おばちゃん、ちったあボケんと

年寄りらしいで！」

〔古〕「そうかなあ ハハハ!!」

甲斐アヤコさん

甲斐さんの部屋でカレンダーを見ていると、

「何か 考え事をしよるんですか？」と。

「今年も早いなあ、と思っていました」と伝えると、

「何か悩み事でも

あるんじゃないかと思いました」

「気遣って下さって、ありがとうございます。」

甲斐さんは本当に優しいですね！」と言うと、

「いいえ、そんなこと・・・お水を下さい！」

と言われた。

眞部タマエさん

「魚釣りゲーム」をしていた時の事・
「たくさん釣れましたか？」と聞くと
「アユが釣れたよ。今度はもつと
たくさん釣つて「ウルカ」を作ろ
うと思つてるのよ！」と楽しそう。

高宮久子さん

ずつと目を閉じているので、
「高宮さん！分かりますか!？」と声をかけると
「なんな!?! あんたじやつたんな・・」
と言い、また目を閉じる。

佐藤義子さん

隣の人の話に顔を覗かせて聞いていた佐藤さん
「何を言いよるか さっぱり分からん
私ん耳は東京か大阪あたり
行つちしもうた」

後藤ミチコさん

ダンゴ蜂(通称名はスズメ蜂の話)し・
「最近、ダンゴ蜂は来ますか？」
(本人がダンゴゴロ・・と言う)
「待つちよるけんど来ん！」

「暑いから来んのですかね？」
「ぼうぜちよるんじやろう・・」

「ダンゴ蜂が出てきたら、唐揚げにしましょう」
「ダンゴ蜂もバカじゃねえきなあ」と笑顔

数日後・・

「後藤さん、今朝私の家の中にダンゴ蜂が
来たんでキンチョールでやつつけたんですよ。
後藤さんが寂しがっていたから、ダンゴ蜂に
今度おじゃまするように言つとききましたよ」
「そいたあー困る！」
うちかたにキンチョールがねえき・・
ダンゴ蜂は おじいわえ〜」と笑う。



古澤マチコさん

「それいけ！シヤンとしよ!!」

と気合を入れている古澤さん・

「誰に言っているんですか？」と聞くと

「こん 足にじゃ！」と左足を叩く。

利根正子さん

ホールでテレビを観ていた利根さん。

画面には引退会見をしている島〇紳〇氏が・

「紳〇さんが辞めるち言いよる。

むげねえなあ。あん人はいい男やったきな。

泣きながら話しよる。ああ むげねえ・」

と、その利根さんも涙目に・。

伊東ユキエさん

夕方、目を開けていたので、

「伊東さん、分かりますか？担当の〇〇ですよ」

と頬を触ると、「ニコツ」と微笑んだ。

久しぶりに見る良い笑顔でした。

衛藤キヨさん

「なあ アイドルち なんな!？」と聞くので、

「私みたいにならなくて可愛くて、みんなに

好かれる人のことを言うんですよ」と言うと、

「若くて可愛いなあ・分かったわ・」と

少し納得のいかない様子の衛藤さん。私みたい

に・と答えた寮母は49歳で3人の子の母でした。

佐藤大造さん

ふる里訪問の時、稲穂の束を持ち帰る。

「これは何と言う種類のコメですか？」

と聞くと、

「農林22号じゃあ・」

と話してくれる。



阿南宗一さんと橋照一さん

食事の中の二人の会話・・・

橋 「おいさん、口に飯ツブがついちよるで!!」

阿 「えっ!?! どこですか!?!」

橋 「ここじゃ、ここ!」と

自分の口を指差し、教えてあげる。

阿 「ああ 取れました。」

ありがとうございます!

橋 「いいえ・・・」と少し恥ずかしそう。

「橋照さん、優しいですねえ」と寮母が言う

橋 「教えちあげんと おいさんが

むげねえわえ」と少し照れた様子。

甲斐アヤコさん

娘さんが面会に来られていた時の会話

「なんにしてん元氣になつたなあ」

「へえ 私はもう死なんでしょうなあ」

「もう 二百歳まで生きりゃいいわ!」

「え!?! そのようにえ!?!」と二人で笑う。

高宮久子さん

夕食時、目を閉じているので、

「高宮さん! 起きてますか!?!」と尋ねると、

「生きちよる・・・」と一言。

佐藤真子さん

「佐藤さんは若い頃からやせてたんですか?」

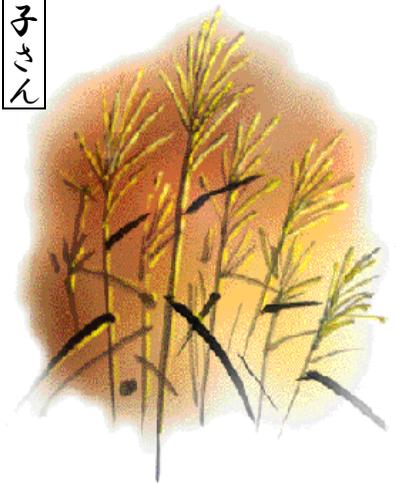
「そうねえ。今 自分で考えてた

とこななの・・・ やせてたわねえ」

「地域で一番の美人だったんじゃないですか?」

「ハハハ・・・そんなことないわよ。」

「ハハハ・・・」と嬉しそうに笑う。



吉庄喜久生さん

「今日はコメン検査はいいんやの!？」

と聞くので、「今日はありませんよ」と言うのと

「そうか・・・」と安心した様子。

「お米の良し悪しはどこで分かるんですか？」

「表面のキズを見るんじゃない！」

「それでは人間の良し悪しは？」

「気持ちじゃ！」とズバリ言われた。

後藤タケさん

「後藤さんの千支は何ですか？」と聞くと、

ニッコリ笑って、「ブタ!!」と言う。

寮母が思いつき笑うと、

「ブタって言うのと、たいがいの人

笑うんよ！本当は「午(うま)」です」

と教えてくれる。

阿南幸丸さん

(奥さんが任運荘ショートステイを利用中の時)

「毎日奥さんの顔が見れていいですね？」

そろそろ飽きてきたんじゃないですか!？」と

ワザと言うと、笑顔で「まだあかん！」

それをそばで聞いていた奥さんが、

「どうちゃん、嬉しいことを言うちくるるな

あ」

吉野秀子さん

ある日の朝のこと・・・

「今日は何時ごろ出かけるんですか？」

「どこへ行くんですか？」と聞くと、

「妹のところ・・・結婚式があるの」

「妹さんの結婚式は聞いていませんねえ」

「あら、やだわ・・・夢を見てただわ」

後藤ミチコさん

入浴が終わった後藤さんに、

「お風呂に入りましたか？」と聞くと、

「今 出ちきた！」

「入浴してくれてありがとう！」と言うと

「どこん っこん あるうちきた ハハハ」

と笑う。



工藤幸子さん

しっかりと目を開けていたので、

「工藤さん、調子はどうですか？」と尋ねると

「調子はいいです。快調です！」

「寒いから風邪に気をつけて下さいね」と言うと

「承知しました」と家政婦のミタ 風に言う。

佐藤義子さんと古庄町子さん

佐藤さんが古庄さんに、

⑤ 「失礼やけど歳はいくつですな！」

⑥ 手で95とすると、5の方だけを見た佐藤さん

は

⑦ 「えっ!! 50歳な!」と驚いた様子。

⑧ 「なんぼなんでん50なら

阿南公子さん

「今日は排便がありましたか？」と聞くと、

「なんか知らん 黄門(肛門)様が

緊張しちよつち 出てこれんごたる!」

と笑う。

広本美千代さん

「朝食は美味しいですか？」と聞くと、

「今日の味付けは まあまあね!」



川邊輝義さん

「冬と夏はどっちが好きですか?」と聞くと、
「夏ん方がいい!」

「そうですね。冬になると夏が恋しくなり、
夏になると冬が恋しくなりますねえ」
「そうじゃあ!」

利根正子さん

職員の結婚式の写真を見ながら、

「こりやあゝ 美しいですなあ・・・」

「利根さんもこんなに美しかったでしょ!？」

「どろしち 美しいもんかな・・・」

「じゃけんど正直(ご主人)は」

「男前じゃったんで!!」と

嬉しそうに教えてくれる。

後藤タケさん

“ことわざカルタ”をした時の事。後藤さんに
ことわざの意味を聞いた時の回答が愉快でした。

花より団子

「昔のこと! 今は“花より男”や!!」

転ばぬ先の杖

「これは本当! 杖は後から

ついてん つまらんわ!」

犬も歩けば棒にあたる

「今は犬が外を歩くと 怒らるるんで!

人間に噛みついて 賠償問題になる。

今の時代 犬もうかうか

外を歩いちよられんわ!!」

臭いもの(蓋)

「男やモメにウジが湧く

女後家には花が咲く・・・」

喉元過ぎれば 熱さ忘れる

「私たちは入歯じゃけん 熱いのが

分らんで 喉を焼く時があるわあ

そしち又それを忘れち飲むんやわ!」

佐藤眞子さん

寮母が佐藤さんの名前を間違えて、

「アナンさん！」と呼んでしまった時、

「私はサトウですわよ」とポツリと言う。

「ごめんなさい。今日の調子はどうですか？」

「あんまり良くないわねえ。私は食べて

ばっかりおるんです。食べないと寝込

んでしまうからねえ」

「食べられることは良いことですよ！」

「そうよねえ、食べないと・・・」

眞部タマエさん

車イスからベッドに移乗する時、

「あなたは私と同じくらいいの

年だけど 元気がいいわね！」

「えっ!? 眞部さんはおいくつですか？」

「大正 15 年生まれよ!(85 歳)」と

きっぱり言われ、ショックを受ける寮母。

工藤ハツヨさん

寮母の手の甲にキズがあるのを見て、

「そのキズは どげえ したんな？」と

言いながら自分の手の平をキズの上にかざし、

「こうすれば治る! こん医者はなあ 金も

要らん 注射もせん 薬も要らんので!!」

と言葉をかけてくれる。

工藤さんの優しさに感動した寮母でした。



後藤ミチコさん

「今日は町長選じゃあ!」と言う。

「今日ですか?」

「あげんことんじよお 言ううち!」

「誰にいれるんですか?」

「そらあ自分の思うし(候補)に

いれな いけんわあ!」

古庄信子さん

喫茶の後、「何を食べましたか？」と聞くと、

「あんこ じやった！」

「昔は良く お饅頭を作ってたんですよね？」

「うん 作りよったけど、おばあさん(姑)に

よう習っちゃかあ 良かった！

おばあさんは何でん

上手く 作りよったんよ」

広本美千代さん

病院受診が終わり帰ってきた時、

「お疲れ様でした。どこに行ってたんですか？」

「あのね 今日は “新宿” まで行って

来たんだけど 財布を忘れちゃった

もんだから 何も買えなかつたのよ・・」

「新宿だと虎屋のヨウカンが有名ですね！」

「ここんとこ虎屋のヨウカンも味が落ち

たんだよね」と少し残念そうな顔をする。

佐藤フミエさん

昼食前、大きな声で「こんにちは！」と

声をかけると、小さな声で

「こ・ん・に・ち・は」

と、口をはつきりと動かしてくれました。

阿南幸丸さん

みんなの前で奥さんから、

「とうちゃん、愛しちよるで！」と言わ

佐藤富子さん

「ご主人は学校の先生だったそうですね？」

と聞くと、笑顔で

「ハイ、学校の先生をいたしました」

「隣の家の眞子さんに今日は会いましたか？」

「エッ!? “馬背戸” ン みっちゃんな？」

と聞き返してくれる。

佐藤義子さん

入浴後、バスタオルにくるまって出て来て：

「あつ手が のうなつた」と驚いたフリ。

「手はどこに行ったんですか？」

「手は大阪に飛んじった！」

「大阪で何をしているんですか？」

「わっしよい わっしよい しよります!!」

と笑う。 ※のうなる＝無くなる

橋照さん

夜勤時、仕事をしている寮母を見て、

「お前 何しよんのか!？」

「仕事をしているんですよ」

「そげえ 働かんでいいわ！」

こつちに来ち 寝れ! ぬきいぞ!

「もう少し仕事をしてから来ますね」

「仕事は 朝になつち すりやいい!!」

と、とても優しい橋照さんです。

※ぬきい＝暖かい・温かい

甲斐アヤコさん

「看護婦さん!」と呼んでいたの、

「どうしましたか?」と聞いてみると

「今日帰るはずが 用事が出来たから

帰られんごととなったち

家に電話して欲しいんです」

「カツヨさんとヤスオさんの

どつちに言ったらいいですか?」

「家人もんなら 誰でんいいんです」

とニッコリ笑う

眞部タマエさん

習字をしながら・・・

「もう 字を書くのは飽いたわ!」

「じゃあ次はネコの絵でも描いてみますか?」

「私が描くとネコがトラになるわ!」

私は寅年の女だから・・・

高山キクエさん

朝食の介助が終わり、
「高山さん、全部食べましたよ」と言うと、
笑顔で「あ・り・が・と」と言ってくれます。

高宮久子さん

夕ご飯を調子よく食べてくれていたので、
「高宮さん、『また来てな』って言って
くれたら、また来ますよ」と耳元で言うと、
フツツと笑って「さようなら」と言われた。

羽田野節子さん

「羽田野さん。私は担当の誰でしょう？」と聞くと
「○藤さん！」と即答する。
「羽田野さん、すごいですねえ！」と言うと
「頭がいいけん！」と笑いながら言う。

羽田野シユクさん

採血検査のため「血を採りますよ」と伝えると、
「痛いんじゃない!? 泣くかもしれない・・・」
針を刺すと「痛い！」と言うので、

「泣いてもいいですよ」と伝えると、
「看護婦さん・・・涙を貸しちよくれ!!」

佐藤大造さん

夜中に見回りに行くとき目が覚めていて、
「私眠たいです・・・」と言うと、
優しい笑顔で「早よ眠んなあ〜」
と言ってくれる。

「佐藤さんも眠って下さいね」と言うと、
笑ってうなずいてくれる。



と余裕で笑顔でした。

廣本美千代さん

食後、下膳をしている職員を見て、

「あのね言っておかないと

いけないことがあるよ!

何にしても残食が多いんじゃない!?

「食べれない人がいたんでしようねえ・・・」

「そうかなあ!? 味付けの問題じゃないの?」

「貴重なご意見をありがとうございます」

「こんなもん 全然貴重じゃないよ!」

後藤タケさん

鼻の横を引つ掻いてしまった後藤さんに、

「鼻の所はどうしたんですか?」と聞くと、

「痒かったから かかじったんよ!!」

こんな所に傷があったら じいちゃん

と夫婦喧嘩をしたかと思わるるわなあ」

と笑う。「でもなあ夫婦喧嘩は1回も

したことはないよ・・・」と教えてくれた。

堀 己代子さん

朝の離床時・・・

「結構なもんじゃなあゝ サツと起けち

顔を洗いに連れち行つち もろうち!

とはつきりとした口調で言う。

後藤 ミチコさん

昼食後、「看護婦さんに言うち

予防接種に行かないけん!」

「何の予防接種ですか?」

「何か分からんけど予防接種に行く!!」

羽田 シュクさん

入浴のシャンプーの時に

頭のマッサージをすると、

「あゝ抱きつきてえほど」

「気持ちいいゝ!」と喜ばれる。



佐藤富子さん

検温時に、「ピピッと鳴りましたか？」に、

「鳴ったで・・・」

「お熱がありますね!？」と尋ねると、

「あちいぐで・・・」と・・・

本当に 37.1℃の微熱がありました。

佐藤眞子さん

介助後、「ありがとうございます」と言うのと、

「いいえ こちらこそ」

ありがとうございます!」と

笑顔でお礼を言ってくれました。

甲斐喜代子さん

歌うのが大好きな甲斐さんのある日の替え歌・

「あな〜たと呼ぶ〜ば あな〜たと答える〜・

・二人は言えない仲 二人はまづい仲〜♪」

と歌い、思わず大笑いした寮母です。

橋照一さん

ホールで、「よい! ちよつと来なあ」と

呼ぶので行ってみると、両手で寮母の腕を揉む

ようにさする。「太いでしよう!？」と聞くと、

「こりやあく おみやあ ここん

おなごん しん 中じ(ここの女性の中で)

一番肥えちよんのお!」と感心する。

後でまた呼ばれ、寮母の腕を揉みながら、

「肥えちよんのお」とまた言うので、

「こままでなるには、相当お金が

かかっているんですよ!」と言うと、

「そうかあ そりやあ

(お金が)だいぶかかったらろうのお」

と心配してくれる・



甲斐アヤコさん

同じお部屋の利用者に目薬を点していると、
本を読んでいた甲斐さんが、

「看護婦さん 私にも目薬を点しちよくれ！
目がうすなつち字が読めんごとなつた・
厚なつたんじゃねえんで！ 薄なつたんで！」

「本が好きですね？」と尋ねると

「私は昔から本が好きで 団子汁を作る時も

お湯がたぎるまで読みよつたら

じいちゃんに本を取り上げられち

クドん中にクべられた・・」

と懐かしそうに笑顔で話す。

※クド・・カマドの奥 ※クべる・・燃やす



廣本美千代さん

誕生日の翌日の雨降りの朝・・

「あんたは私の大切な おかあさんだよ！
天国だ！みんなに良くしてもらって天国だよ」

「甥の方からお花をもらって良かったですね！」

「だから雨が降るんだよ！」 「・・・」

吉野秀子さん

お部屋の洗面所に鏡を置くと、

「あら!? ありがとうございます

なんだか 心が豊かになったみたいだわ」

と喜ばれる。

古庄信子さん

戸外散歩で庭になっているイチジクを見つけ、

「あつ イチジク」とニッコリ。

イチジクを半分食べると

「おいしい・・」と笑顔が見られました。

利根正子さん

夜間、なかなか眠れず、寮母と一緒に見廻る。声を出している利用者を見て、

「あの人は むげねえ・・・」と涙ぐむ。

「利根さんは眠たくないんですか？」と聞くと、

「ねむとねえ・・・」「元気がいいですね!？」と

聞くと、「馬力がいいわ!」

橋照一さんと廣本美千代さんの会話

廣 「この人がこれ(タオル)を

くれるんだよお」と困った様子・

橋 「橋さん、どうしたんですか？」と尋ね

ると

橋 「こんし(人)が可愛いいけん

あげたんじゃ」と満面の笑みで言う。

廣本さんは恥ずかしそうに手で顔を隠し、

「こんな婆さんに

そんな事言つて・・・」と照れ笑い。

甲斐喜代子さん

K寮母の顔を見て、

「あんた 美しいなあ」と言う。

「ありがとうございます」と言う。

「これでいいかなあ」と真顔で言い、

すぐ他のH寮母を見て、

「あんたは人間らしい顔をしちよる」

と笑って言った。

森ハルミさん

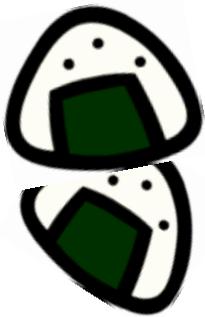
98歳の森さんに、93歳の弟さんが面会に

来られた時の様子・

「お互い 長生きするとソんじやなあ」

と言いながら、二人で堅いセンペイを

バリバリと音を立てて食べていた・



後藤ミドリさん

庭に出来たニガウリを見て、

「ニガウリがなつちよる！」

「良く見えましたね。どういう風

に

して食べますか？」と聞く

後藤タケさん

面会に来られた息子さんとの会話・・・

「今日なあ オリンピックが東京に

なったんち！ 2020年にあるんち!!」

「もうそんな時はムリじゃろ、ムリムリ！」

と言う息子さんに、

「エゝツ？ 何がムリかえ!？」と

聞き返していた。



甲斐アヤコさん

夜勤の時間帯に

「頭は痛く無いですか？」

気分は悪く無いですか？」

と尋ねると、

「はい いたって元気です！」

とニコリ笑いながら言った。

佐藤富子さん

夜勤が終わり、

「もう帰りますね」と声をかける

と、

後藤ミチコさん

隣の利用者が「もう帰る」と言っているのを聞き、

「帰るなら車で帰らんとなあ」と言う。

「後藤さんも帰りたいたいですか？」と尋ねる

と、



阿南幸丸さん

「もう8月ですね。私は8月生まれなんで、
またひとつ歳を取ります・・」
と、

「わしがもろうちやん！」と阿南さん。

「私をもらうと女の子が三人、

コブ付きでついてきますよ」と言う

と、

古庄喜久生さん

古庄さんに「足浴」をしていた時、

「はよ 急げ！ まだか!? 急げ!!」とせかす。

「さあ終わりましたよ。お疲れ様でした！」

と

声をかけ、足を拭いていると、

「また、しちもらいてえ時は

あんたん名を呼ばいいんかえ!」

利根正子さん

眠れない夜に利根さんに鉛筆と紙をお渡しすると、

「日々 あそびたい。お世話をやいてくれ」

と書いてくれました。

「何をして遊びたいですか？」と尋ねると、

ニコツと笑顔で、

「さあな!? 考えちよくわ・・」と言われた。

廣本美千代さん

朝食のセッティングをしていると、

「あら、ずいぶん老けたわねえ」

と言われた・・

古庄喜久生さん

朝食が終わり、お膳を下げる時、

「私 悩みがあるんですよ・・」
と

と

工藤ハツヨさん

「お茶が欲しいです・・・」

と言われ、お茶を差し上げると

「今度はあんたたちに

美味しいお茶を入れてあげたいな」

と言ってくれる。

眞部信義さん

夜間に声があるので訪室してみると、

「あんた 出身は？」

どこの生まれ!？」

とはつきりした口調で聞かれた。

森ハルミさん

ショート入居されて、日に日にお元気に

なるので「ビックリです!」と伝える

と、「私はあなたたちの

真心と優しさにビックリです」

とありがたい言葉をいただきました。

後藤ミドリさん

息子さんの面会の時、「息子さんの名

前は何と言うんですか?」と聞く

と、

「カツユキ、カツユキ!

そきおるそきおる!」

後藤ミチコさん

「あんなあ、吉良酒屋に連れち

行ってくれんやろか!？」

「どうしたんですか!？」

「牛が品評会じ一等になつたき、

酒を持ちち、写真を撮りに

行きてえんじゃわ!」と笑顔。

「良かったですねえ・・・」

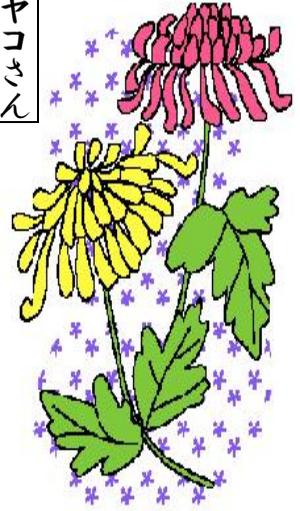
牛の名前はなんと言うんです

か?」

「こりやあ困った なんち言う名前か



甲斐アヤコさん



五月に百歳になる甲斐さん。

自分のケアプラン会議に参加した時の会話・

「何かしてもらいたい事や

行きたい所はないです

か？」

「もう死んでもいいです・・・」

「心配せず、ずっと長生きして下さいね」

「生きちよっていいんですか？」

そしてワザと「カツヨさんの

お母さんじゃないですか？」と聞

くと、

「はいカツヨの母です！」とキツパリ言う。

「ハハとはカツヨいいですね」と言うのと、

阿南幸丸さん・古庄喜久生さん

『利用者・職員対話会』の時の会話・

「どこか行きたい所はないですか？」

「遠いきい もういいわあ〜」

もう一度聞くと、「アメリカ！」と言い、

すると横に座っていた古庄喜久生さんは、

「僕は別府の飲み屋!!」とキツパリ言った。

古澤マチコさん

お部屋に設置している加湿器の霧を見て、

「ありや 饅頭でん

蒸しよんのですか!？」と聞かれたので、

「空気が乾燥しているので、機械で

お部屋の湿度を上げています

よ」

と説明すると、

「そんなことですか・・・」と

加湿器から出る霧をじっと眺めていた。

古庄喜久生さん

戸外散歩で桜並木を見る。

「古庄さん、桜がきれいですね」と言う

と、

「もう見たきい 連れち帰っちくりい」

古庄喜久生さん

次の日が休みだったので、

「古庄さん、私は明日

何をすればよいですかね？」と聞く

と、

「そりやあ よこえば(休めば)

いいじゃねるか」

「古庄さんから許可が出たので、よこいま

廣本美千代さん

背中と毛布の間がすいていたので、

「背中がすいてますよ」と毛布を押さえる

と

甲斐アヤコさん

介助していると、

「きたないところをすみません」

と言われる。「私も歳をとつたら

お世話になります。お互い様ですよ」

と言うと、

「その時は私がお姉さんに

なつてしてあげます」

と言ってくれた。

工藤ハツヨさん

洗顔にいくと、

「ありがとうございます」

「工藤さん、クリームをつけます

よ」



廣本美千代さん

① 戸外散歩中、

道端に咲いていた
シヤクナゲの花を
持ち帰ろうと

1本折った時、

電線にとまっているツバメにむかって、

「ツバメさくん 黙つといてなあ〜」

② 折り紙をしていると「私もさせて！」と

参加する。「できますか？」と尋ねると、

「私も女なんだから できるわよ！」

③ 病院受診で車イス用のリフト車に乗る時、

「これ(乗車)が楽しみで

(体が)悪くなっているんだよ」

と笑いながら言われた・



森ハルミさん

「この人はみんなが気持ちいが

優しくてベッピンが多いなあ〜」

「いえいえ 森さんこそベッピンです

よ」

「あらま!?! そげんこと言うとも また

嫁さんにいって あなたに仲立ちを

〜つゝ、しゝかよ・・う頂タレニよるト〜

後藤ミドリさん

面会の息子さん夫婦が帰った後、

「息子さんが来たんですね。」

今度来た時は教えて下さい」と言うとも、

ニッコリ笑って、「土よう 日よう!」

と教えてくれる。



羽田信茂さん

運動会の職員アトラクションで、『嵐』ならぬ『山嵐』の踊りを見た後、「なんか無理があるわなあ・・・」とボソツと言う。



任運荘ダンスチームによるアトラクションの踊り・・・

古庄町子さん

運動会の『嵐』のアトラクションを見て、『シロウトにしちゃ』よ～でけたわなあ！」

の言葉に来ていたお嫁さんが、

「あくばあちゃん、あげんこと言うち・・・すぐホントんことを言うんよなあ」 「・・・」

後藤タケさん

「台風が来るかもしれないね」と伝える

と、

「日本は小さいに・・・」

小さい島で暴れんでいいに・・・

後藤ミドリさん

「冬になると寒くなるので、

毛糸の帽子をかぶりませんか？」と聞く

と、

佐藤眞子さん

入浴の時、他の職員と入浴の事を話しているのをジッと見ていた佐藤さん・・・そつと小声で、

「叱られているの!？」と気遣ってくれる。

ワザと「叱られたんです・・・」と泣きまねすると

古庄町子さん・古澤マチコさん

少し風邪気味の古庄さんに、寮母が

「今日は おかゆ にしますか？」と聞くと、

「えっ? おかず え!？」

「お・か・ゆ です!」

「お・か・ね え!? お金がどしたちえ?」

そのやり取りをジッと見ていた古澤マチコさんは、

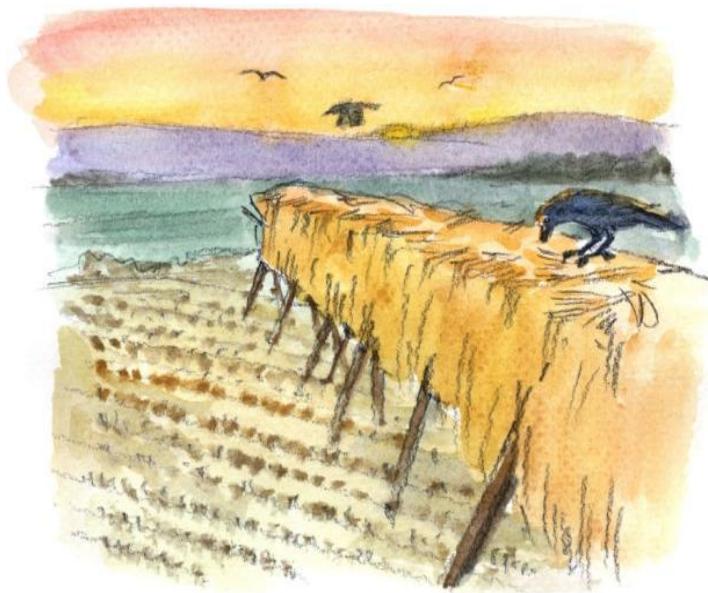
「まあ いろいろあるわなあ」とつぶやいた。

廣本美千代さん

電線に止まっているツバメを

ジーツと見て、

「けなげだねえ〜」としみじみ言う。



古庄喜久生さん

式典に出席している天皇陛下が放映されていたので「古庄さん、天皇陛下が

テレビに出ていますよ」と言うと、「よろしゆ 言うちよつちくれなあ」

後藤 タケさん

病院受診の時の話をしてくれる。

「この間、病院の先生から

“足は立ちますか？”と聞かれたから、

『足は立たんけど 口はたつんよ』ち

言うたらな 先生が

“こりやゝ一本とられたなあ”ち

言いよった。

病院の先生を负かしちきたんよ！」と

満足気。

廣本美千代さん

お部屋をのぞくと手をさすっているの、

「どうしたんですか!？」と尋ねると、

「シワをのばしているの・・・」と言い、

「どうにもならないんだだけどね」と笑う。

後藤 ミドリさん

看護師から受けた“リハビリ”が痛かった

らしく、時間が経っても看護師を見ると、

「アイツじゃあゝ！」

と指をさす後藤さん：

甲斐喜代子さん

朝方、寮母室前の金魚の水槽を見て、

「魚がいつぺえ入ちよら！」

早よ引きあげち 食べればいいわ!!」

と笑いながら言った!

古庄 信子さん

東京在住の長男さんが面会に来られ、前回の面会の時よりお元気になっていたので驚かれています。

長男「また近々、来ますからね」と言うど、

「そげえ 頻繁に来んでいい！」と言う。

長男「いつまでたつても母に

頭が上がりません。叱られてばかりで

す」と

森 ハルミさん

入浴後、自分のお腹をさすって笑っている。

「どうしたんですか？」と聞くと、笑いなが

ら

「妊娠 五ヶ月！でもダンナは(天を指さし)

渡邊 光子さん

頑張つてご自分で食事を食べていたので、

「バンザイ」と職員が手を上げると、

「あんた 元気がいいなあ・・・」と

ポソツと言った。

羽田野 常子さん

爪が伸びていたので、

「爪を切りましょう」と言う

ど、

「ちょうど良かった！あんたに

電話して切つちもらおうと

思うちよつたんじゃ！

三浦 都さん

夜中に目が覚めて「起こして！」と・・・。

「朝になったら起きましようね」と言

うど、





麻生 浩さん & 古庄 喜久生さん

夕食の時、古庄さんが、

「今日俺は相撲は休場じゃ！」と言うので

「どこか悪いんですか？」と尋ねると、

「痔じゃ！」と言う。それを聞いた麻生さんが、

「何!? 胃が悪いんな？」と言うと、

古庄さんは、「痔じゃ！ケツじゃ!!」と言う。

理解した麻生さんが、

「ああそりゃ どんこんならんな」と言い、

聞いていた職員がクスクス笑うと、

「笑いごつちやねえんぞ！」と

いら立つ古庄さんでした・

五嶋ナルコさん

「五嶋さん、お元気ですか？」と尋ねると、

「おおかた しゃべりきります」

廣本美千代さん

センサーが鳴り、訪室すると

「悪いわねえ 迷惑かけて・・

あなたたち お給料は安いんでしょう？」

と言うので

「給料を上げてくれるよう話して下さい」

と言うと、

「あいつも たいへんなんだよ・・」

古庄町子さん & 阿南公子さん

古庄さん 「人間なんか せにやいけんわな」

阿南さん 「せにやういけんけど でけんわえ」

古庄喜久生さん&麻生浩さん

古庄さんに「今日はみやこさん(奥さん)が
面会に来たんですね!」と話すど、

古庄さんは「おお!」と言ひ、

同時に同室の麻生さんが「いいや、来ん!

と言われる。「お二人の奥さんの名前は?」

と尋ねると同時に「みやこ!」と言われた。

麻生さんは「同じ名前なんじゃなあ・・

今知った・・」と嬉しそう。

※実は麻生さんの奥さんは『みわこさん』でした。

古庄スミコさん

昼食後、お部屋で休んでいたこうと、

「お部屋で休みましょうか?」と声掛ける

と

後藤ミチコさん

「パンツをはかしちよくれ!」と

入浴後にいつも言う後藤さん。

「今日は何色のパンツにしますか?」

「やっぱ色ん いいのを履きたいわあ」

「じゃあ 真つ赤のはどうですか?」と

聞くと、

「つゝじまわつち、元気がでるなあ」

倉原ムツ子さん

「ご飯粒が口に付いていたので、

「お弁当が付いていますよ」と一粒取

ると、

「あゝ、なし取るんなえゝ

.....



羽田野節子さん

羽田野さんの車イスへ移乗する時、

「羽田野さん、車イスに移りますよ」と声掛けると

岡野マチヨさん

介助の度に「ありがとうございます」と笑顔で言ってくれる岡野さん。ご家族の面会の後、

「息子さんが来られましたね!？」と聞くと、
「やさしいくんで！」と嬉しそう。

清水シズ子さん

日光浴をしている清水さんに、

「清水さん、日焼けをしますよ」と声掛けると、

「誰も嫁にもらってくれんけんいい！」



後藤 タケさん

「寮母さんは何ミソが好きですか？」

フジジンですか？ 何ですか？」

と突然聞いてきたので、

「ウーン、フンドーキンですかね・・・」と

答えると、すかさず笑顔で「私は「脳ミソ」

衛藤 結(むすぶ)さん

夕食時、「また後で来ます。

他の人の所に行ってきますね」と言

うと、

「結婚しちよらんのじやろ？」

いい人を探しちきなあえ」

と笑いながら言う。

15分後・・・「いい人が見つからなかったの

戻って来ました」と言う

三浦 都さん

介助をしていた時、寮母の腰とお尻を叩くので、

「三浦さん、なんで叩くの？」と聞くと、

「たたきよるんじゃねえよ。」

アンマをしちやりよるんじゃ!!」

「ありがとうございます。ところで三浦さんは

海外に行った事がありますか？」と聞くと、

「あげん おじいとは行きとねくわ!」

「私は一度外国に行ってみたいです」と言

阿南公子さん

阿南さんのベッドの

枕元に靴下があったので、

ホールにいらっしゃる

本人に持って行くと、

「やだ! いつ脱いだか

覚えてないわ!!」



倉原イツ子さん

妹の倉原ムツ子さんと食事をしている時、

「ムツちゃん、おいしい!」

と笑顔で聞いていました。

工藤 篤さんと羽田野二代さん

① 「あんだ 久しいなあ・・・」

② 「おう! 久しいなあ」

③ 「昔はいろいろ しょったわなあ」

④ 「そうじゃなあ・・・」

昔は飛行機に乗っちゃった!」

⑤ 「あんだ 何でん乗っちゃよんのやなあ

あんだ コンバイン乗った事ある?」

⑥ 「こんまい のやない

大きいのに乗ったんじゃ」

「工藤さん、こんまいのじゃなくて、

コンバインですよ」

と教えると二人で大笑い。

廣本美千代さん

センサーが鳴ったので、

走って廣本さんの居室に行くよ、

「なんでもないよ」と・・。

またセンサーが鳴ったので走って行き、

「何かあったのかと走ってきました！」と言

うと、

「ハ、ヒミツな事あるの？」

上野ハツさん

「あゝ寮母さん、朝地ん寮母さん

今日はよく思い出した！」

「今日は夜勤です。お願いします」と言う

と、

「あゝうれしい！」

「こちらこそお願いします」

と言ってくれた。

最近「寮母さん、ありがとう」

橋照一さん

夜勤時に「はよこききち眠りなあ」

「まだ、仕事をしてるので・・。」と言う

と、

「しよわしい時は言いなあえ。」

わしが手伝っちゃるきな！」

吉良千里さん

「あけましておめでとうございます」と

ボードに記入して告げると、

「おめでとうございませう。」

「こちらこそお願いします」

「私の名前は？」と問うと、

「羽田野さん・朝地やなあ」

と言ってくれた。



後藤タケさん

「もうすぐお正月ですね。あと1日です
ね」

「長手は馬くく、くくでしよう」

阿南宗一さん

「おはようございます」

「おはよ・・・」

「阿南さん、調子はどうですか？」

「どこか連れてつてください」

「どこに行きたいですか？」

「ウーン・・・」

「たくさんあるんですか？」

「はい・・・」

「ひとつだけあげるなら どこです
か？」

「軸丸に行きたいです」

トニタコ会話ができました。

廣本美千代さん

「雪がヒザまで

積もって大変でした・・・」

「あら 大変だったわね。」

すごい雪やもんな・・・

風邪はひいてない？ 大丈夫？

シモヤケはできてない？」

と心配してくれる。そして

「寒いから私の布団においでよ！

暖めてあげる」と手をさすってくれる。

「まだ、仕事が朝まで続くんですよ」と言

うと、「あら、じゃあアリナミンでも飲

んで

休める時は休みなよ！

と優しい言葉を

かけてくれた。



2014/2/14・・・
緒方町で30cm
近くの積雪です



森 宣子さん

「あいたく」 「おんぼした・・・」と

いろんな言葉を出され、その後、

「みきひろ」 「あけみ」と言われた。

後藤 ミドリさん

後藤さんが大きな声で何か言っているので、

「えっ何？」 「〇〇〇ですか？」 と何度も

言うのと、

麻生 浩さん

車イスへ移乗する時、

「今日も私の一本勝ちですねえ」と言う

と、

「ハハハ」と笑いながら、

「今日も一本取られたなあ」と

しかし「負けるが勝ち」と

いうこともあるんで

佐藤 亀代さん

トイレの帰りに大きな声で、

「もしもし 亀よ 亀さんよ」と

と歌いながら帰っていった。

衛藤 キヨさん

「新しい服を着ていますね？」 と聞く

笑顔で「娘が持ちこたきたんで！」

長門 長喜さん

発注していた車イスがやっと届いた時、

「これでやっと自由やなあ」と

佐藤 大造さん

自宅前の田んぼの写真を一緒に見ながら、

「佐藤さんは何という種類の

お米を作っていたんです

か？」

「粟木(かうりも)んや」と教えてくれた。

阿南宗一さん

今日はとても言葉が多く聞かれる。

「阿南さん、おばさんの名前は

『おつなさん』ですね？」と言

うと、

「はい そうです」

「私方はおつなさんの姉妹の

『おせきさん』方です」と言う

阿南幸丸さん

阿南さんが退院された日、元気がなく奥さんも

心配されていた。次の日、奥さんを見ると、

「家内じゃ、公子じゃ！」と笑顔で言い、

「あさつては月曜日ですよ」と声掛けると、

「Monday！」と、いつもの阿南さんでした。

衛藤瑞穂さん

お名前の「衛藤さん」と言うのと、

「みずほ」と答えてくれる。

森宣子さん

「おはようございます。お元気ですか？」

五嶋ナルコさん

「寮母さん！ ○○○○出たんで！！

止められんわあ〜！！」

佐藤チヌさん

「お風呂に入りましたか？」と聞く

「はーい」と言われた。



阿部マサヲさん

「天気が良いです。寝てるともつたないですね」と言
うと、

森 宣子さん

「みきひろさんは来ましたか？」と聞
くと、

「だれえ？」

「息子さんです」

玉田房子さん

トイレ介助の時に、

「待つちよつてな」と言われ、

「玉田さん、爪切りをしましょう」と言
うと、

「ありがとな！ 私は目も耳も

古庄町子さん

そんなに若くない50歳代の寮母に、
「あんた もう嫁さんに

いっていいんで！」と言う。

「古庄さん、私はもう孫がいるんです

よ」

と答えると、「えゝ 知らんかった！」

衛藤千明さん

「アゝゝゝ」と声を出されていたので、

「衛藤千明さん」と声をかけると、

私の方を向いてくれた。

甲斐喜代子さん

車イスを自操する甲斐さん。声を掛けると、
「出発！ 進行！！」と言って移動した。



甲斐シズカさん

「甲斐さん、こんにちは」と声を掛けると、

渡戸節子さん

お姉さんの面会があり、手足のマッサージをして下さいました。その間、しっかりとお姉さんを見つめていました。

10月のお誕生日には、そのお姉さんから毛布のプレゼントをいただき、「お姉さんからのプレゼントですよ」とお伝えすると、閉じていた目をそっと開きました。

佐藤眞子さん

「佐藤眞子さん」と声を掛けると、「はい ハッ ハッ ハッ」と笑って答えてくれました。

古澤マチコさん

移乗の時に、

「古澤さん、足に力をいれて、

ベッドに上がりますよ」

と声を掛け移乗すると、

「あくあ うまいじゃんかあ 上等」と言っていて休まれた。

廣本美千代さん

利用者・職員対話会の時、

「小さな事の積み重ねだけど

まとまると大きな力になるんだよ」



古庄町子さん

「あんなあ 昭和は続きよるんな？」

「昭和はもう終わって 26 年です・・・」

「あゝそうやった！」

「すぐなんぞん 忘るるきいなあゝ」

川邊輝義さん

夜間時に

「川邊さん、寒くないですか？」

と声を掛けると、

「さむねえゝ」と

久しぶりに声が聞かれました。

渡邊光子さん

衣類を出している時に、

「明日 着てくさいね」と言うと、

「雨が降らんかなあゝ」と笑顔で言う。

「テルテル坊主を作りましょう」

橋照一さん

ホールで私の手を見て・・・

「おまやあゝ どうしち そげえ

手が こんめえんか!？」

と心配してくれる。

「生まれた時から コレ なんですよ」

「父ちゃんに言ううち

ようしちもらええ！」

「今からでも間に合いますか

ね？」

「でけんち言われたら

三浦都さん

S 看護師を見た三浦さん、

「あんた べっぴんさん！」と言い、

S 看護師の後ろ姿を見ると、また

「かっこいい！」と言った・・・

玉田房子さん

「爪を切りましょう」と声をかけると、
「まあ、いいけど切つちもらおう！」

まあるく上手に切つてな・・・
と言われ、真剣な眼差し。

爪切りが終わると

「すんません、きれいになつたわあ！」

とニッコリ。

甲斐喜代子さん

お部屋でテレビを観ていた時、

画面にライオンが映ると、

「あゝ、ライオンじゃ〜」

やっぱ目が違うわなあゝ」と笑う。

後藤ミドリさん

普段マスクをしていない職員が

マスクをして訪室すると、

「何するんな!!」と真剣な顔!

後藤タケさん

「今日の午後は何をやるの？」

と聞かれたので、

「散歩に行きましようか？」と言うと

「銀座(東京)に行つて、

一番高い食堂に行こう!」と言う。

「そこで何を食えますか？」と聞くと、

「私は“おかゆ”を食べるゝハハハゝ」

と笑う。

橋照一さん

「お前が一番好きじゃ!!」

と寮母に笑顔で言う橋さん。

それを見ていた看護師が

「私は？」と聞くと、

「お前は後回しじゃ!!」



五嶋ナルコさん

車イスへスムーズに移乗ができた時、

「あんた(介助が)うまいなあ〜！」と五嶋さん。

「五嶋さんが上手なんですよ」と言う

と、

「両方がよかったんじゃ！」

片方だけじゃつまらんき」と

古庄ヨシ子さん

医大の研修生が実習の時、

「将来のお医者さんに言いたい事

や

希望がありますか？」と声掛ける

と、

「誠実で親切で優しいお医者様に

古澤マチコさん

「調子はどうですか？」と尋ねる

と、

「元気になったよ〜」と笑顔。

「ごはん 食べましたか？」と聞く

と、

田部八千代さん

入浴後の田部さんの髪を整えていると、

「今から嫁さんに行くわけじゃねえけん、

あんまり こしらえんで いいで!!」

「わからんですよ〜。」

「もらわれるかもしれんですよ〜」と言

うと、

「もう 行くところは決まっちゃる!」

森 宣子さん

「森さん、おはようございます！」

と声掛けると、満面の笑みで

「あくビックリした。」

あんた元気いいなあ！ おはよう！」

と久々に声が聞けました。

柴田フサ子さん

「柴田さん、いくつになりましたか？」と

聞くと、

「いくつやったかなあ・・もう忘れた!!」

「いくつまで歳を数えましたか？」

「30までかなあ・・」

もう30過ぎたらバラバラや・・」

「ここの職員はほとんど30歳を

倉原イツ子さん

夕食の時に「倉原さんはメガネが

とても似合いますね！」と言う

と

「そうなあ〜!?」と笑顔で言い、

後藤タケさん

「寮母さんは“何覚”ですか？」と聞か

れる。後藤さんのことだから普通に答えては・・

と考え、「私はさとうです！」と答える。

「後藤さんは何覚ですか？」と聞くと、

「わたしはかりんとう」と答える。

後藤さんには勝てません・・・



あとがき

この「つぶやき集」を編集するにあたり、読み返していくうちに利用者お一人おひとりの顔、そして折々の情景が浮かんできました。寮母の問いかけに、その時々の中の思いがそのまま言葉となつていきます。

はた目には老いて日々喪失していくと思える暮らしの中でも、うからやからに、思いをはせ、たからかな日々をおくっているのです。まさに「任運騰々」そのものと気づかされました。

二〇一五年 五月十日

任運荘広報委員会

特任
運荘

「つぶやき集Ⅱ」

2008年5月～2015年3月

2015年 5月10日 発行

発 行 任運荘広報委員会

社 会 福 祉 法 人 任運社

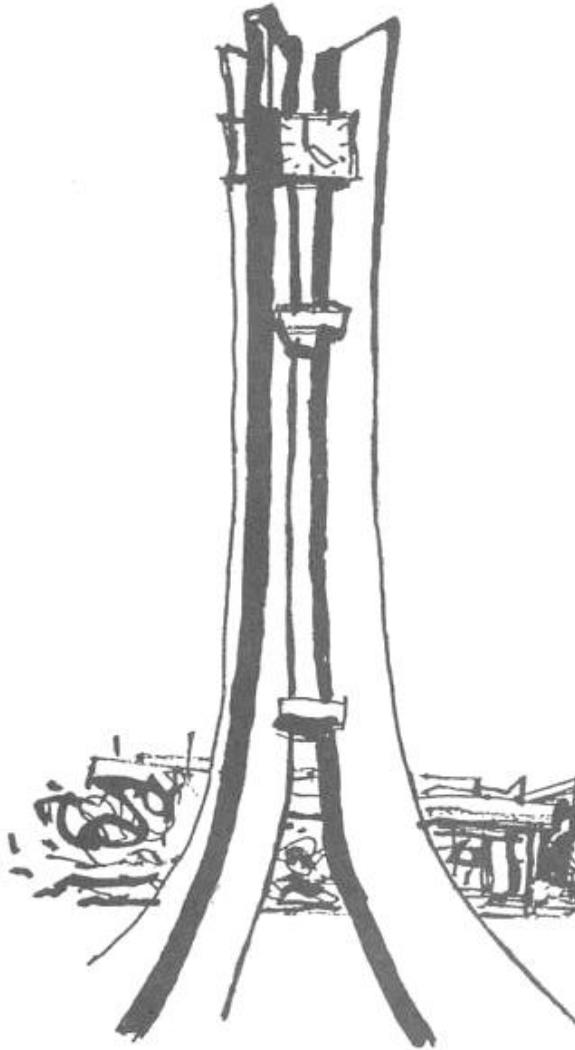
特別養護老人ホーム 任運荘

〒879-6601

大分県豊後大野市緒方町馬場 796 番地 1

電 話 (0974) 42-2338

FAX (0974) 42-4187



社会福祉法人 任運社
特別養護老人ホーム任運荘 広報委員会